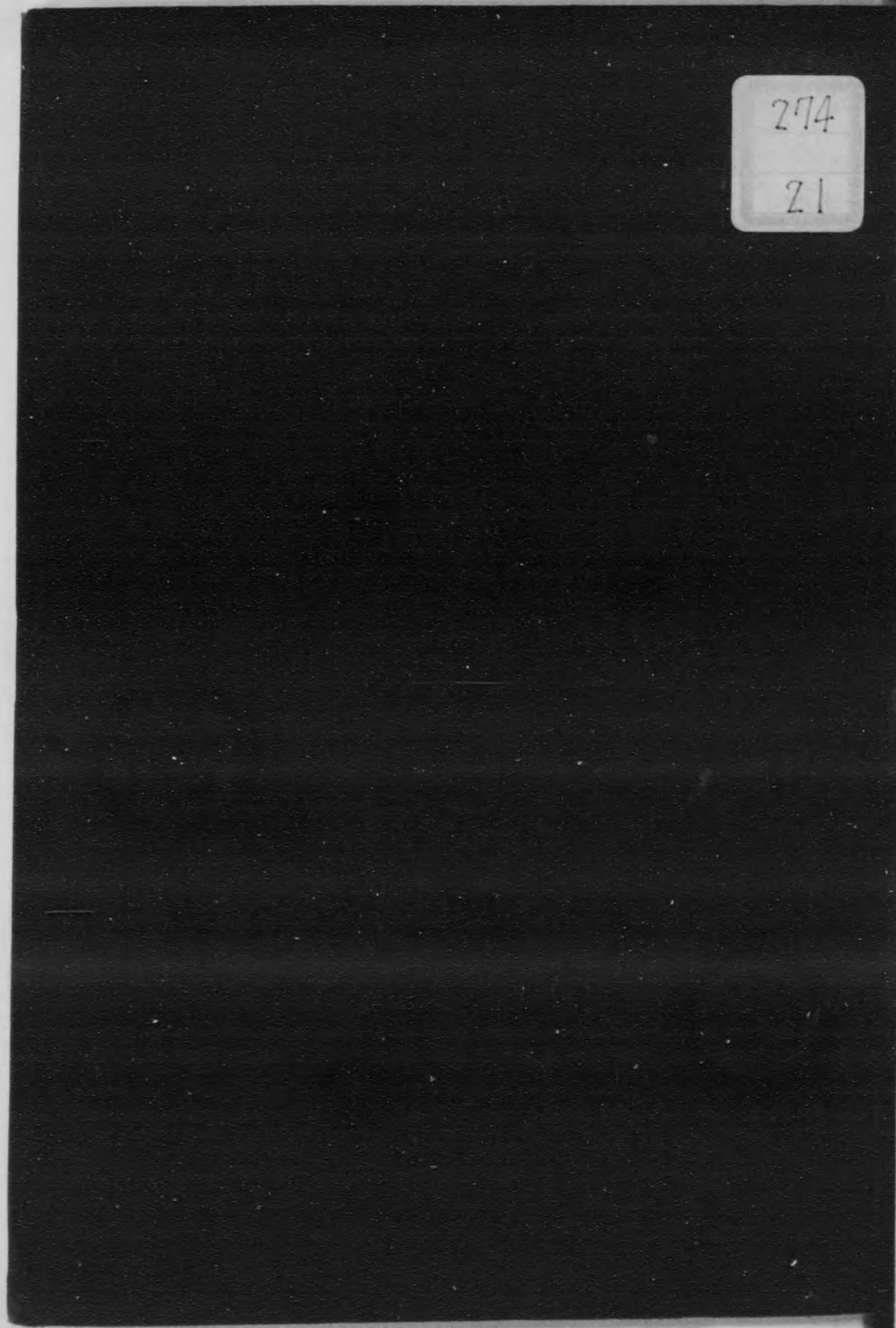


274
21

始

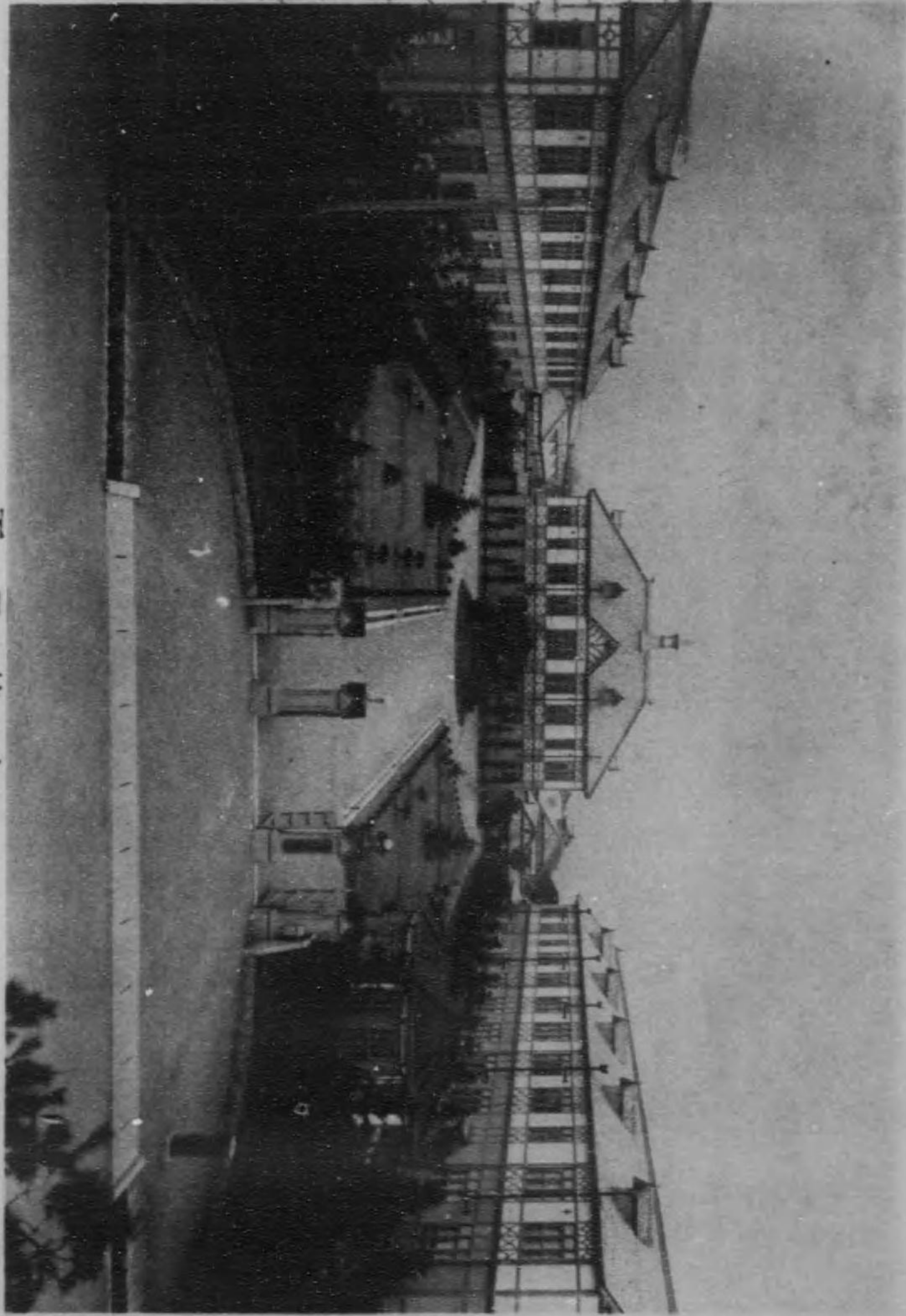


奈良女子高等師範學校一覽

大正
五四年
度

錦居

274-21



本校正面

本校寄贈本

大正
1. 6
寄贈

附屬幼稚園

植物園

果樹園

附屬實科高等女學校
附屬小學校

本校

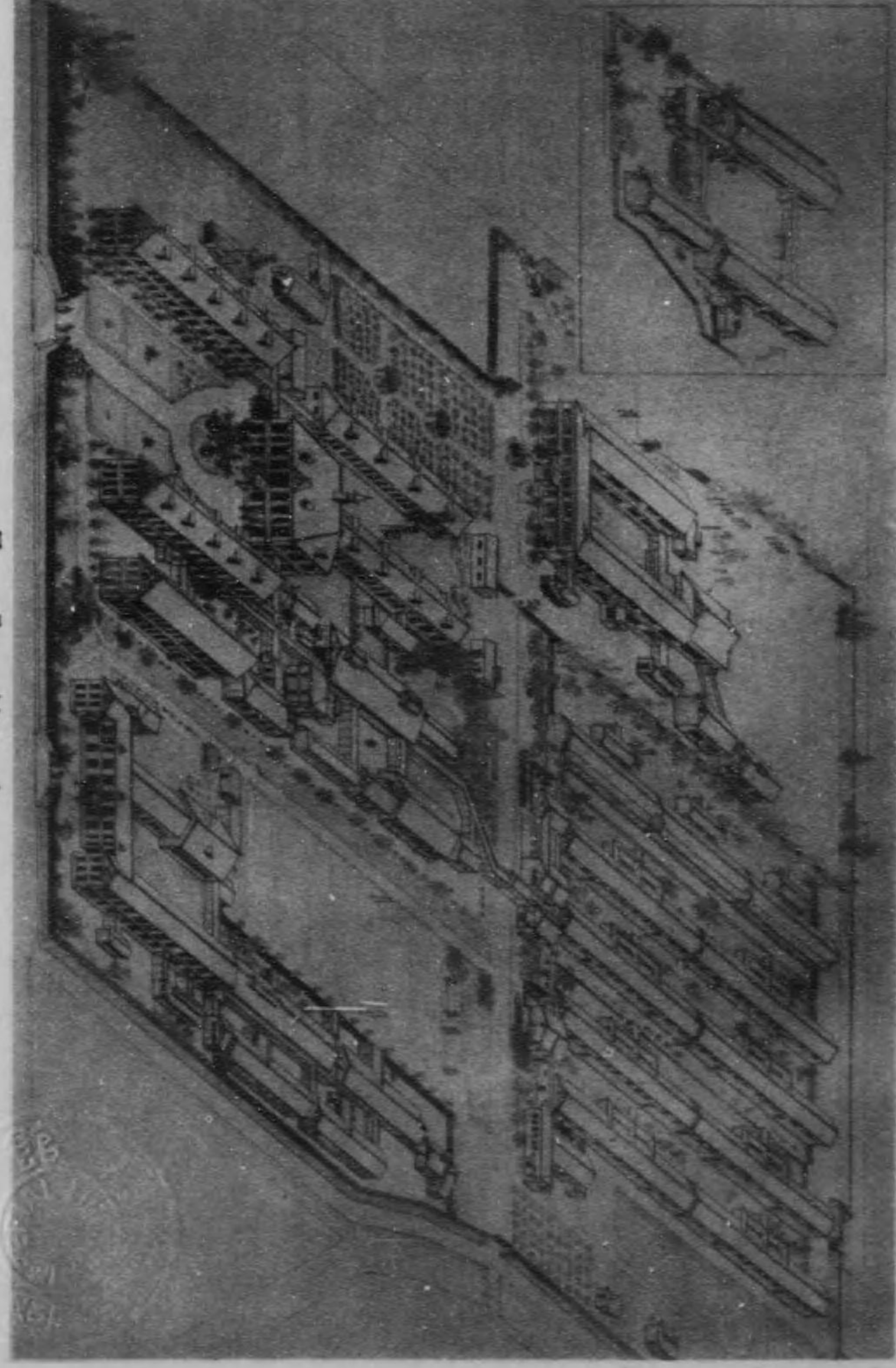
附屬高等女學校

本校寄宿寮

附屬女學校寄宿寮

圖書園地

景 全 校 本



桐 風 庭 園

詩 林 園

果 樹 園

桐 風 小 學
桐 風 實 業 高 等 女 學 校

本 校

桐 風 高 等 文 學 校

本 校 寄 宿 寮

桐 風 文 學 校 寄 宿 寮

園 藝 園 地

奈良女子高等師範學校一覽

目次

一 沿革略	一頁
一 學年曆	七
一 女子高等師範學校ニ關スル法令	九
一 文部省直轄諸學校官制	九
二 師範教育令	三
三 女子高等師範學校規程	五
四 女子高等師範學校生徒募集規則	一八
五 高等師範學校女子高等師範學校及師範學校入學志望者入學禁止項目	二〇
六 女子高等師範學校卒業者服務規則 <small>(明治四十三年三月以後ノ入學者ニ適用)</small>	二一

七	學生生徒及幼兒身體檢查規程	二四
八	行幸啓ノ節學生生徒敬禮方	三〇

一 本校規則細則類

一	本校規則(新)	三二
二	本校規則(舊)(大正二年以前) <small>(入學者ニ適用)</small>	五四
三	本校研究科規則	七七
四	生徒心得	七九
五	生徒例規	八〇
六	入學者選拔規則	九〇
七	獎勵學資支給規則	九四
八	學資支給規則	九五
九	修學旅行費積立規程	九六
十	寄宿寮規則	九八

十一	圖書館規則	九九
十二	理科共同標本室規則	一〇二
十三	評議會規程	一〇三
十四	事務分掌規程	一〇五
十五	圖書館事務規程	一〇九
十六	寄宿寮事務規程	一一〇
十七	教育實習ニ關スル規程及細則	一一四
一職	員	一二九
一 生	徒	一三七
一 卒業	者	一五一
一 經費及設備		
一	經費	一六五
二	敷地建物	一六六

三 備品數量價格部局別調.....一六九

四 圖書類別表.....一七二

五 藏書統計表.....一七四

一 附屬高等女學校

一 規則.....一七五

一 職員.....一九一

一 生徒.....一九四

一 卒業者及修了者.....一九五

一 附屬實科高等女學校

一 規則.....一九七

一 職員.....二〇〇

一 生徒.....二一二

一 附屬小學校

一 規則.....二二三

一 職員.....二二三

一 兒童.....二三四

一 卒業者.....二三六

一 附屬幼稚園

一 規則.....二三七

一 職員.....二三七

一 幼兒.....二三三

一 保育終了兒.....二三四

附 錄

一 年中記要……………二三五

附

祝辭及告辭……………二二七

職員生徒ニ關スル諸調査……………二二七

本校入學志望者心得……………二八七

本校々友會規則……………二九四

附

本校々友會細則……………三〇九

附屬高等女學校々友會規則……………三一四

附屬實科高等女學校臯月會規則……………三一四

附屬小學……………三二五

奈良女子高等師範學校一覽

◎沿革略

明治三十二年高等女學校令ノ公布ト共ニ政府ニ於テ第二女子高等師範學校設立ノ議アリ此ヨリ先キ奈良市ハ官立學校ノ同市内ニ設立セラレンコトヲ希望シ其敷地數千坪ヲ政府ニ寄附セルアリ第二女子高等師範學校設立ノ議アルニ及ヒ奈良縣ハ奈良市ト協議シ女子高等師範學校ノ敷地ニ充ツヘキニ萬餘坪ノ地ヲ選定シテ曩ニ奈良市ヨリ寄附セシ地ト交換寄附センコトヲ願ヒ出テ政府ノ容ルル所トナレリ然レトモ政府財政ノ事情ハ直ニ第二女子高等師範學校ヲ設立スルヲ得ス空シク數年ヲ經過シ明治四十年度ニ至リ始メテ校舍ノ建築ニ着手セラレタリ

明治四十一年三月三十一日勅令第六十八號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正ヲ加ヘテ本校ヲ設置セラレ勅令第六十九號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中ニ本校職員(校長一人教授二人助教二人書記二人)ヲ加ヘラル



明治四十二年一月十八日 文部省視學官從五位勳五等野尻精一校長ニ任セラレ同
十九日 文部省内ニ於テ事務ヲ開始ス○二月十五日 文部大臣ノ許可ヲ得テ入學者選
拔規則ヲ定ム○四月一日 事務所ヲ奈良市北魚屋西町ノ新築校舎ニ移ス同月七日 勅
令第八十八號ヲ以テ本校職員定員(教授二人ヲ十三人ニ、助教二人ヲ四人ニ、書記二
人ヲ三人ニ)ヲ改正セラル同十二月 學資支給規則ヲ同十七日 物品會計規程細則ヲ同
十九日 日本校規則ヲ何レモ 文部大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム同二十九日 地方長官ノ薦
舉生七十七人ニ入學ヲ許可シ 教室一棟ヲ假リニ寄宿寮ニ充用シ生徒ヲ寄宿セシム
○五月一日 授業ヲ開始ス○九月二十日 天皇陛下 皇后陛下ノ御影及教育ニ關ス
ル御親署ノ勅語ヲ下賜セラル
明治四十三年二月二十四日 文部大臣ノ許可ヲ得テ外國人特別入學規程細則ヲ定
ム○三月二十六日 勅令第六十七號ヲ以テ本校職員定員(教授十三人ヲ十八人ニ、助教
授四人ヲ八人ニ、書記三人ヲ五人ニ、新ニ助手二人ヲ加ヘラル)ヲ改正セラル○四月二
日 寄宿寮ヲ新築校舎ニ移轉ス同月十六日 地方長官ノ薦舉生八十一人ニ入學ヲ許可
シ清國女學生四人ニ聽講生トシテ入學ヲ許可ス○十一月四日 文部大臣ノ許可ヲ得

テ本校規則中第二十三條第二十六條ヲ改正シ學資支給規則ヲ改定ス同日 明治三十
年 文部省令第二十四號女子高等師範學校規程第八條及明治四十二年 文部省令第二
十七號女子高等師範學校卒業者服務規則第四條ノ規定ニ依リ 文部大臣ノ許可ヲ得
テ本校授業費償還額ヲ定ム
明治四十四年三月二十九日 文部大臣ノ許可ヲ得テ附屬小學校規則ヲ定ム同月三
十一日 勅令第七十三號ヲ以テ本校職員定員(教授十八人ヲ二十二人ニ、助教授八人ヲ
十人ニ、書記五人ヲ六人ニ、新ニ教諭十人、助教諭十人、訓導十八人ヲ加ヘラル)ヲ改正セ
ラル○四月八日 地方長官ノ薦舉生七十七人ニ入學ヲ許可ス同月九日 元奈良市第三
尋常小學校朝日分教場校舎ヲ假用シ附屬小學校ヲ開始ス同月十三日 清國女學生一
人ニ聽講生トシテ入學ヲ許可ス○六月七日 生徒心身鍛鍊ノ目的ヲ以テ 薙刀稽古ヲ
開始ス○七月二十日 文部大臣ノ許可ヲ得テ附屬高等女學校規則ヲ定ム同月二十一
日 附屬小學校ヲ奈良市ノ寄附ニカカル新築校舎ニ移轉ス○九月六日 元奈良縣立奈
良高等女學校校舎ヲ假用シ附屬高等女學校ヲ開始ス○十月六日 文部大臣ノ許可ヲ
得テ本校規則第五條及第十五條ヲ改正ス同月十六日 附屬高等女學校ヲ奈良縣ノ寄

附ニ係ル新築校舍ニ移轉ス

明治四十五年三月十八日 文部大臣ノ許可ヲ得テ 附屬小學校規則中第一條各學年教授ノ程度並每週教授時數表中 高等小學校ノ部及證書書式ヲ改正ス ○四月二十二日 地方長官ノ薦學生八十人ニ入學ヲ許ス ○五月二十九日 勅令第三百三十號ヲ以テ本校職員定員(教授二十二人ヲ二十六人ニ、助教諭十人ヲ十一人ニ、新ニ保母四人ヲ加ヘラル)ヲ改正セラル ○七月八日 文部大臣ノ許可ヲ得テ 附屬幼稚園規則ヲ定ム 同月十九日 文部省令第十八號ヲ以テ 明治三十年 文部省令第二十二號 女子高等師範學校生徒募集規則中改正セラル 同月三十日 大正ト改元アリ

大正元年十一月一日 奈良市ノ寄附ニ係ル 元奈良市第三尋常小學校朝日分教場校舍ヲ園舎ニ充テ 附屬幼稚園幼兒保育ヲ開始ス ○十二月五日 文部大臣ノ許可ヲ得テ 本校規則中 卒業證書書式ヲ改正ス

大正二年二月十九日 文部大臣ノ許可ヲ得テ 本校研究科規則ヲ制定ス ○三月廿八日 本校第一回 卒業證書授與式ヲ舉行ス(卒業者六十三人) ○四月八日 地方長官ノ薦學生七十四人ニ入學ヲ許可ス ○六月十三日 勅令第八十三號ヲ以テ 本校職員定員(教

授二十六人ヲ二十五人ニ、教諭十人ヲ九人ニ、保母四人ヲ五人ニ)ヲ改正セラル ○八月九日 文部大臣ノ許可ヲ得テ 附屬高等女學校規則中 生徒定員及授業料ヲ 附屬小學校規則中 兒童定員ヲ改正ス ○十二月五日 文部大臣ノ許可ヲ得テ 附屬小學校規則中 各學年教授ノ程度及每週教授時數表中 體操ノ部ヲ改正ス

大正三年三月三日 文部省令第五號ヲ以テ 女子高等師範學校規程中改正セラル 同月五日 文部大臣ノ許可ヲ得テ 本校規則ヲ改正ス 同月二十八日 本校落成式及本校第二回 卒業證書授與式ヲ舉行ス(卒業者六十八人) ○四月七日 地方長官ノ薦學生六十一人ニ入學ヲ許可ス ○九月十日 文部大臣ノ許可ヲ得テ 本校入學者選拔規則ヲ改正ス

大正四年三月二十八日 第三回 卒業證書授與式ヲ舉行ス(卒業者六十七人) ○四月十日 地方長官ノ薦學生七十五人ニ入學ヲ許可ス ○十月二十一日 天皇陛下ノ御影ヲ下賜セラル ○十二月二十七日 勅令第二百三十六號ヲ以テ 本校職員定員(教授二十五人ヲ二十四人ニ)ヲ改正セラル

大正五年一月十七日 文部省令第三號ヲ以テ 女子高等師範學校生徒募集規則中改正セラル ○三月二十八日 第四回 卒業證書授與式ヲ舉行ス(卒業者六十六人) ○四月一

日文部大臣ノ許可ヲ得テ本校規則ノ一部ヲ改正ス同月四日 皇后陛下 神武天皇
 二千五百年祭御參拜ノ爲奈良市ニ御駐泊中本校ニ 行啓アラセラレ生徒ノ學業并
 成績品等ヲ 台覽アラセラル同月十日地方長官ノ薦學生七十一人ニ同月十五日補
 缺トシテ五名ニ入學ヲ許可ス同月十七日文部大臣ノ許可ヲ得テ附屬實科高等女學
 校規則ヲ定ム同月十八日勅令第百十四號ヲ以テ本校職員定員教諭九人ヲ十一人ニ
 助教諭十一人ヲ十六人ニヲ改正セラル○五月一日附屬實科高等女學校ヲ開始ス

◎學 年 曆

大正五年

- 四月一日 (土) 本校及附屬校園學年始
 - 同 月 八 日 (土) 附屬校第一學期始業
 - 同 月 十 一 日 (火) 本校第一學期始業
 - 五 月 一 日 (月) 學校記念日
 - 七 月 二 十 日 (木) 本校及附屬校園第一學期終業
 - 九 月 一 日 (金) 附屬學校第二學期始業
 - 同 月 十 一 日 (月) 本校及附屬幼稚園第二學期始業
 - 同 月 二 十 日 (水) 御親署勅語下賜記念日
 - 十二月廿四日 (日) 本校及附屬校園第二學期終業
- 大正六年
- 一 月 八 日 (月) 本校及附屬校園第三學期始業

三月廿四日(土) 本校及附屬校園第三學期終業

大正六年

十二月十四日(土) 本校及附屬校園第二學期終業
十一月二十日(土) 本校及附屬校園第一學期終業
十月二十日(土) 本校及附屬校園第一學期開學
九月二十日(土) 本校及附屬校園第一學期開學
八月二十日(土) 本校及附屬校園第一學期開學
七月二十日(土) 本校及附屬校園第一學期開學
六月二十日(土) 本校及附屬校園第一學期開學
五月二十日(土) 本校及附屬校園第一學期開學
四月二十日(土) 本校及附屬校園第一學期開學
三月二十日(土) 本校及附屬校園第一學期開學
二月二十日(土) 本校及附屬校園第一學期開學
一月二十日(土) 本校及附屬校園第一學期開學

◎女子高等師範學校ニ關スル法令

◎女子高等師範學校ニ關スル法令

一、文部省直轄諸學校官制

明治二十六年八月
勅令第八十六號

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

- | | |
|------------|------------|
| 東京高等師範學校 | 廣島高等師範學校 |
| 東京女子高等師範學校 | 奈良女子高等師範學校 |
| 盛岡高等農林學校 | 鹿兒島高等農林學校 |
| 上田蠶絲專門學校 | 東京高等蠶絲學校 |
| 京都高等蠶業學校 | 東京高等商業學校 |
| 神戸高等商業學校 | 長崎高等商業學校 |
| 山口高等商業學校 | 小樽高等商業學校 |
| 第一高等學校 | 第二高等學校 |
| 第三高等學校 | 第四高等學校 |

女子高等師範學校ニ關スル法令

第五高等學校
 第七高等學校造士館
 千葉醫學專門學校
 金澤醫學專門學校
 新潟醫學專門學校
 大阪高等工業學校
 名古屋高等工業學校
 米澤高等工業學校
 秋田鐵山專門學校
 東京美術學校
 東京盲學校
 第六高等學校
 第八高等學校
 岡山醫學專門學校
 長崎醫學專門學校
 東京高等工業學校
 京都高等工藝學校
 熊本高等工業學校
 桐生高等染織學校
 東京外國語學校
 東京音樂學校
 東京聾啞學校
 第二條 高等師範學校ニ附屬中學校及附屬小學校ヲ置ク
 第三條 女子高等師範學校ニ附屬高等女學校附屬小學校及附屬幼稚園ヲ置ク
 第四條 東京高等商業學校ニ商業教員養成所ヲ附設ス

第四條ノ二 新潟醫學專門學校ニ附屬醫院ヲ置ク
 第五條 東京高等工業學校ニ附屬職工徒弟學校及附屬工業補習學校ヲ置キ工業教員養成所ヲ附設ス
 第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク
 校長
 教授
 生徒監
 助教授
 書記
 第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス
 第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル
 第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス
 生徒監ハ校長ノ指揮ヲ受ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十一條 高等師範學校及女子高等師範學校ニ第六條職員ノ外左ノ職員ヲ置ク

助 教 諭

訓 導

第十二條 教諭ハ委任トシ助教諭ハ判任トス附屬中學校及附屬高等女學校生徒ノ

教育ヲ掌リ兼テ師範生徒ノ實地授業ヲ監督ス

第十三條 訓導ハ判任トス附屬小學校生徒ノ授業ヲ掌リ兼テ師範生徒ノ實地授業

ヲ監督ス

第十四條 高等師範學校ニ助手ヲ置ク判任トス教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補

助ニ從事ス

第十五條 女子高等師範學校ニ保姆ヲ置ク判任トス附屬幼稚園幼兒ノ保育ヲ掌ル

第十六條 東京官學校及東京聾啞學校ニ教授助教諭ヲ置カス教諭及訓導ヲ置ク教

東京官學校教諭ハ官教員志望者ノ授業ヲ東京聾啞學校教諭ハ聾啞教員志望者ノ

授業ヲ掌リ訓導ハ生徒ノ授業ヲ掌ル

第十七條 專任教官中其學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ

兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑

託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十八條 文部大臣ハ高等師範學校女子高等師範學校東京高等商業學校及東京高

等工業學校教官ノ中ヨリ各其附屬學校主事教員養成所主事附屬幼稚園主事ヲ命

シ其ノ事務ヲ掌ラシムルコトヲ得

第十八條ノ二 新潟醫學專門學校附屬醫院ニ醫院長、醫長、醫員、藥局長及調劑員ヲ置

キ同校教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘ

シ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

一、師範教育令

明治三十年十月
勅令第三百四十六號

第一條 高等師範學校ハ師範學校中學校及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス

女子高等師範學校ハ師範學校女子部及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス

師範學校ハ小學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス

前三項ニ記載シタル學校ニ於テハ順良信愛威重ノ徳性ヲ涵養スルコトヲ務ムヘシ

第二條 高等師範學校及女子高等師範學校ハ東京ニ各一校ヲ設置シ師範學校ハ北海道及各府縣ニ各一校若ハ數校ヲ設置ス

第三條 高等師範學校及女子高等師範學校ハ文部大臣ノ管理ニ屬シ師範學校ハ地方長官ノ管理ニ屬ス

第四條 師範學校ノ經費(北海道及沖繩縣ヲ除ク)ハ府縣稅又ハ地方稅ノ負擔トス

第五條 師範學校ノ設備ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條 高等師範學校女子高等師範學校及師範學校生徒ノ募集及卒業後ノ服務ニ

關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第七條 高等師範學校女子高等師範學校及師範學校生徒ノ學資ハ文部大臣ノ定ムル所ニヨリ其ノ學校ヨリ之ヲ支給スヘシ

前項ノ外文部大臣ノ定ムル所ニ依リ私費生ヲ置クコトヲ得

第八條 高等師範學校女子高等師範學校及師範學校ノ學科及其程度並教科書ハ文部大臣之ヲ定ム

第九條 師範學校ニ豫備科小學校教員講習科及幼稚園保母講習科ヲ置クコトヲ得

三、女子高等師範學校規程

明治三十年十月 文部省令第二十四號

第一條 女子高等師範學校ノ學科ヲ分チテ文科、理科、家事科トス

第二條 文科ノ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、歴史、地理、外國語、家事、音樂、體操トス

理科ノ學科目ハ修身、教育、數學、物理、化學、礦物及地質、植物、動物、生理及衛生、外國語、家事、圖書及手工、音樂、體操トス

家事科ノ學科目ハ修身、教育、理科、家事、裁縫、手藝、手工、園藝、圖書、國語、外國語、數學、音樂

體操トス

家事科ハ之ヲ分チテ第一部及第二部トナスコトヲ得

學校長ニ於テ特ニ必要ト認メタルトキハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ前各項ノ學科目ヲ加除スルコトヲ得

第三條 前條ノ學科目中音樂ハ學習困難ナリト認メタル生徒ニハ之ヲ課セサルコトヲ得

第四條 女子高等師範學校ノ學科ハ師範學校女子部ノ課程ニ照シ更ニ一層精深ナル程度ニ於テ教授スルモノトス

第五條 女子高等師範學校各學科ノ修業年限ハ四箇年トス

第六條 (大正三年文部省令第五號ヲ以テ削除)

第七條 第四年級生徒ハ附屬學校及幼稚園ニ於テ實地授業及保育ニ從事セシム

第八條 生徒在學中懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者及自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ願フ者ハ支給セラレタル學資及授業費ヲ償還スヘシ
文部大臣ハ其ノ情狀ニ依リ前項償還スヘキ學資及授業費ノ全部若ハ一部ヲ免除

スルコトアルヘシ

第九條 生徒在學中疾病ニ罹リ若クハ學業進マヌ又ハ品行修マラサルカ爲ニ成業ニ適セスト認ムルトキハ學校長ヨリ退學ヲ命スヘシ

第十條 女子高等師範學校ノ卒業生又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者ニシテ第二條ニ規定シタル科目中ノ一科目又ハ數科目ヲ專攻セントスル者ノ爲ニ研究科ヲ置ク

研究科ノ修業年限ハ一箇年乃至二箇年トス

第十一條 師範學校女子部及高等女學校教員ノ缺乏ヲ充タス爲ニ特別ノ必要アル場合ニ於テハ專修科ヲ置クコトヲ得

專修科ノ學科目及其ノ程度並ニ修業年限募集人員入學者資格等ハ其都度文部大臣ノ認可ヲ經テ學校長之ヲ定ム

第十二條 師範學校女子部又ハ高等女學校教員タルノ志望ヲ有スル者ニシテ各學科中ノ一科目若クハ數科目ヲ選ヒテ學修セントスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得

選科生ハ何等ノ科目ヲ選フニ拘ラス修身教育ヲ兼修スルコトヲ要ス
選科生ノ在學期間ハ四箇年トス但シ特別ノ事情アル者ニ就キテハ學校長ニ於テ
本文ノ期間ヲ伸縮スルコトヲ得
第十三條 一箇年以上ノ課程ヲ卒リタル本科生ニハ學業ノ成績ニ依リ所設ノ科目
中其數ヲ限リ修メシムルコトヲ得

附 則

本令ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ對シテニ仍從前ノ規定ニ依ル但シ學校長ニ於
テ便宜本令ノ規定ヲ斟酌スルコトヲ得

四、女子高等師範學校生徒募集規則

明治三十年十月
文部省令第二十二號

第一條 女子高等師範學校文科生、理科生、家事科生、及專修科生ハ師範學校、高等女學
校本科卒業者ニシテ身體健全品行方正ナル者ニ就キ當該學校長ノ薦舉ニ依リ女
子高等師範學校長試験ノ上選拔ス但シ女子高等師範學校長ニ於テ必要ト認メタ

ルトキハ地方長官ノ薦舉ニ依リ試験ヲ須ヒスシテ之ヲ選拔スルコトヲ得
前項ノ試験ハ當該學校ノ屬スル地方廳所在地ニ於テ行ヒ東京府ヲ除ク外地方長
官之ヲ監督ス

女子高等師範學校長ハ必要ト認メタルトキハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ第一項ニ規
定シタルモノノ外薦舉ニ關スル條件ヲ定ムルコトヲ得

第一項ニ掲ケタル師範學校及高等女學校ノ生徒ニシテ當該學校長ニ於テ本條ノ
募集ニ依リ入學スヘキ者ノ入學期以前ニ卒業スヘシト認メタル者ハ當該學校ノ
卒業者ニ準スルコトヲ得

第二條 女子高等師範學校文科生、理科生及家事科生ハ毎年一回、專修科生ハ臨時之
ヲ募集シ其都度女子高等師範學校長之ヲ公告ス但シ第一條第一項但書ノ場合ニ於
テハ女子高等師範學校長ハ期日及員數等ヲ地方長官ニ通知スヘシ

第三條 第一條ニ依リ募集スルモノノ外女子高等師範學校長ハ身體健全品行方正
ニシテ學力年齢當該學級ニ相當スル者ヲ募集シ試験ノ上入學セシムルコトヲ得

第四條 (削除)

第五條 研究生及選科生ノ募集ニ關スル規程ハ女子高等師範學校長之ヲ定メ文部大臣ノ許可ヲ受クヘシ

(備考)

朝鮮總督府及臺灣總督府ニ於テ管内高等女學校卒業生ニ就キ相當資格アル者ヲ薦舉シタル場合ハ本則第一條ノ地方長官薦舉ニ準ス(明治四十四年十月廿六日普通學務局長通牒摘要)

五、高等師範學校女子高等師範學校及師範學校入學

志望者入學禁止項目

明治三十五年二月 文部省令第五號

高等師範學校、女子高等師範學校及師範學校ニ於テハ其ノ入學希望者ニシテ左ノ各項ノ一ニ該當スルモノヲ入學セシムヘカラス

- 一 明治三十三年文部省令第四號學生生徒身體檢査規程第五條第一項第七號ノ體格薄弱ニ屬スル者
- 二 精神機能ニ障害アル者
- 三 傳染性眼炎ヲ患フル者又ハ眼鏡ヲ以テ補正スルコト能ハサル近視亂視弱視

等ヲ有スル者

- 四 聽官又ハ言語ノ障害著シキ者
- 五 肺結核其他結核ノ諸兆アル者
- 六 心臟瓣膜病ヲ患フル者
- 七 惡性腫瘍腎臟炎、糖尿病、重症貧血等ヲ患フル者
- 八 修學上ニ妨アル疾病ニ罹リ急治ノ見込ナキ者若ハ他ニ感染ノ虞アル疾病ヲ患フル者

六、女子高等師範學校卒業生服務規則

明治四十二年十二月 文部省令第二十七號

第一條 女子高等師範學校卒業生ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

- 一 文科、理科及家事科卒業生中甲種ノ學費支給ヲ受ケタル者ハ五箇年
- 二 文科、理科及家事科卒業生中乙種ノ學費支給ヲ受ケタル者ハ四箇年
- 三 文科、理科及家事科私費卒業生ハ三箇年

大正五年一月十七日省令第四號 改正

- 四 專修科卒業者中學資ノ支給ヲ受ケタル者 （修業年限三箇年ノ者ハ三箇年
修業年限二箇年ノ者ハ二箇年）
- 五 專修科私費卒業者 （修業年限三箇年ノ者ハ二箇年
修業年限二箇年ノ者ハ一箇年）
- 第二條 女子高等師範學校卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指
定ニ從ヒ奉職スル義務ヲ有ス
 - 一 文科、理科及家事科卒業者中甲種ノ學資支給ヲ受ケタル者ハ三箇年
 - 二 文科、理科及家事科卒業者中乙種ノ學資支給ヲ受ケタル者ハ二箇年
 - 三 文科、理科及家事科私費卒業者ハ一箇年
 - 四 專修科卒業者中學資ノ支給ヲ受ケタル者 （修業年限三箇年ノ者ハ二箇年
修業年限二箇年ノ者ハ一箇年）
 - 五 專修科私費卒業者ハ一箇年
- 第三條 女子高等師範學校卒業者ニシテ特別ノ事情ニ依リ第一條ノ義務ヲ履行ス
ルコト能ハサル者ハ其ノ理由ヲ具シ女子高等師範學校長又ハ地方長官ヲ經テ義
務ノ猶豫又ハ免除ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得
前項ニ依リ出願シタル者アリタルトキハ女子高等師範學校長又ハ地方長官ハ事
實ヲ審査シ意見ヲ付シテ願書ヲ進達スヘシ

- 第四條 女子高等師範學校卒業者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アリタルトキ
ハ文部大臣ノ指揮ニヨリ學資支給ヲ受ケタル者ニ在リテハ授業費及在學中支給
セラレタル學資私費卒業者ニ在リテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ
全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ
 - 一 第一條ノ義務ヲ履行セサル者
 - 二 服務年限中懲戒免職又ハ免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタル者
- 前項授業費ノ金額ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ
- 第五條 女子高等師範學校卒業者ニシテ服務年限中研究科等ニ入學セムトスル者
アルトキハ時宜ニ依リ許可スルコトアルヘシ
- 第六條 女子高等師範學校卒業者ニシテ第三條ニ依リ其ノ義務ヲ猶豫セラレタル
トキ又ハ前條ニ依リ研究科等ニ入學シタルトキハ其ノ猶豫又ハ在學ノ期間ハ服
務年數ニ算入セス

附 則

本令ハ明治四十三年三月一日ヨリ施行ス

本令施行以前ニ入學シタル者ノ服務年限ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

七、學生生徒及幼兒身體檢査規程

明治三十三年三月
文部省令第四號

第一條 學生生徒ノ身體檢査ハ毎年四月ニ於テ之ヲ施行スヘシ
學校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ學生生徒ニ就キ臨時身體檢査ノ全部若ハ一部ヲ施行スルコトヲ得

第二條 明治三十一年勅令第二號第一條第二項ニ依リ學校醫ヲ置カサル町村立學校及私立ノ小學校及各種學校ハ本令ノ身體檢査ヲ行ハサルコトヲ得

第三條 身體檢査ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムヘシ但シ學校醫ヲ置カサル場合ニ於テハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第四條 身體檢査ハ左ノ項目ニ就キ施行スヘシ

- 一 身長
 - 二 體重
 - 三 胸圍
 - 四 脊柱
 - 五 體格
 - 六 視力
 - 七 眼疾
 - 八 聽力
 - 九 耳疾
 - 十 齒牙
 - 十一 疾病
- 小學校生徒ニ在リテハ視力及聽力ノ二項目ヲ檢査スルコトヲ要セス但シ著シキ

障害アリト認ムルモノハ此限ニアラス

第五條 身體檢査ハ左ノ各號ニ準據シテ施行スヘシ

（明治四十五年文部省
令第一號ヲ以テ改正）

一 (削除)

二 檢査ノ表記ニハ度ハ尺、衡ハ貫ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒテ度ハ分、衡ハ匁ニ止ムヘシ

三 身長ヲ測定スルニハ足袋、靴等ヲ脱セシメ兩蹠ヲ密接シテ直立シ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保タシムヘシ又女子ニシテ鬚アル者ハ小桿ヲ鬚下ヨリ水平ニ横ヘテ測定スヘシ

四 體重ハ着衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ着衣ノ重量ヲ全重量ヨリ除去スヘシ

五 胸圍ハ兩上肢ヲ鉛直ニ垂レ自然ノ位置ニ在ラシメ乳頭ノ水平線ニ於テ常時ヲ測定スヘシ充盈、空虛ノ差ヲ測定スルトキ亦同シ但シ小學校生徒ニ在リテハ常時ノミヲ測定スルモノトス

六 脊柱ハ正、左彎、右彎、前屈、後屈ヲ檢査シ屈彎ニ就キテハ其程度ニ依リ各強中弱ノ三種ニ區別スヘシ

(校名) 學生生徒身體檢查統計表 (男) 明治 年四

年	身長		體重		胸圍		脊柱		體格		視力		眼疾	聽力	齒牙	疾病	檢査人員
	總長	平均	總重	平均	常時	最大	左側	右側	強	中	弱	正					
何年																	
何年																	
何年																	
何年																	
何年																	
何年																	
何年																	
何年																	
何年																	

一本表ハ男生徒女生徒ヲ置クモノ及學科ノ部類ヲ異ニスルモノハ各別ニ調製スヘシ
 一年齡ハ四月一日ノ計算ニ依リ滿六年一日以上滿七年迄ノ者ヲ七年トシ其ノ他之ニ準ス
 一身長、胸圍ニ係ル總長、體重ニ係ル總重ノ各欄ニハ就モ同一年齡ニ於ケル各檢査人員ノ身長、胸圍又ハ體重ノ總重ヲ除シタル商ヲ掲クヘシ
 一視力ニ就キテハ兩眼ノ欄ニハ兩眼トモ正視、遠視、近視又ハ其ノ他亂視、斜視、弱視等ノ者ノ人員ヲ掲ケ左眼又ハ右眼ノ欄ニハ左眼又ハ右眼ノ一方ノミ正視、遠視、近視又ハ其ノ他亂視、斜視、弱視等ノ者ノ人員ヲ掲クヘシ但シ失明者ニ關シテハ兩眼又ハ片眼ニ區別シ備考ノ欄ニ於テ其數ヲ示スヘシ
 一檢査スヘキ項目ノ一部ノ檢査ヲ缺キタル者ハ之ヲ表中ニ計入スヘカラス
 一外國人ニ係ルモノハ之ヲ計入スヘカラス
 一備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ關シ説明ヲ要スル事項其ノ他特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ
 一學校ニ於ケル重ナル疾病ノ原因及豫防等ニ關シ學校醫等ノ意見アルトキハ之ヲ表末ニ附記スヘシ

員ノ身長、胸圍又ハ體重ノ各合計ヲ掲ケ最大、最小ノ各欄ニハ其ノ檢査人員中ノ最大、最小ナルモノヲ掲ケ平均ノ各欄ニハ其檢査人員ヲ以テ身長、胸圍ノ總長又ハ體重ノ總重ヲ除シタル商ヲ掲クヘシ
 一視力ニ就キテハ兩眼ノ欄ニハ兩眼トモ正視、遠視、近視又ハ其ノ他亂視、斜視、弱視等ノ者ノ人員ヲ掲ケ左眼又ハ右眼ノ欄ニハ左眼又ハ右眼ノ一方ノミ正視、遠視、近視又ハ其ノ他亂視、斜視、弱視等ノ者ノ人員ヲ掲クヘシ但シ失明者ニ關シテハ兩眼又ハ片眼ニ區別シ備考ノ欄ニ於テ其數ヲ示スヘシ
 一檢査スヘキ項目ノ一部ノ檢査ヲ缺キタル者ハ之ヲ表中ニ計入スヘカラス
 一外國人ニ係ルモノハ之ヲ計入スヘカラス
 一備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ關シ説明ヲ要スル事項其ノ他特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ
 一學校ニ於ケル重ナル疾病ノ原因及豫防等ニ關シ學校醫等ノ意見アルトキハ之ヲ表末ニ附記スヘシ

第八條 幼稚園ニ於テハ本令中小學校生徒ノ身體檢査ニ關スル規定ヲ準用ス

八、行幸啓ノ節學生生徒敬禮方

明治四十三年八月
文部省訓令第十八號

- 一 武装携銃ノ場合
(略ス)
- 二 武装セサル場合(女生徒ヲ含ム)
 一 學校長及職員ハ全列ノ右翼ニ指揮者ハ各組ノ右翼ニ位置シ前驅ノ見エタルトキ「氣ヲ付ケ」ノ號令ヲ下シ一齊ニ脱帽セシメ直立不動ノ姿勢ヲ取ラシム御車カ指揮者ノ前ニ達シタルトキ「禮」ノ號令ニテ敬禮セシメ(體ノ上部ヲ約三十度前方ニ屈シ御車ニ注目セシム)「直レ」ノ號令ニテ元ノ姿勢ニ復セシム(明治四十四年文部省訓令第十一號ヲ以テ改正)
(大正五年文部省訓令第五號)
 御車カ組ノ左翼ヨリ通過スルトキハ學校長、職員及指揮者ハ左翼ニ位置ス
- 右訓令ニ關シ文部次官通牒摘要(明治四十三年八月二十六日)
 追テ大雨雪ノ際ハ雨具ヲ用フルモ苦カラス又幼稚園並尋常小學校第二學年以下ノ兒童ハ參列セシメサルヲ可トシ尙第三學年以上ノ兒童ト雖場合ニ依リ參列セ

シメサルモ差支無之候條御承相成度
 右訓令ニ關シ文部省普通學務局長通牒摘要(明治四十三年八月廿六日)
 文部省訓令第十八號末段敬禮ヲ終リ直立不動ノ姿勢ニ復シタル後目迎目送ハ差支ナシ

◎本校規則細則類

一、奈良女子高等師範學校規則

大正五年四月改定

第一章 目的

第一條 本校ハ女子師範學校、師範學校女子部及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成シ兼テ普通教育及幼兒保育ノ方法ヲ研究スルヲ以テ目的トス

第二章 學科及修業年限

第二條 學科ヲ分テ文科、理科及家事科トス

第三條 文科ノ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、歷史、地理、習字、英語、音樂、體操トス

理科ノ學科目ハ修身、教育、數學、物理、化學、礦物及地質、植物、動物、生理及衛生、家事、園藝、圖書及手工、英語、音樂、體操トス

家事科ノ學科目ハ修身、教育、家事、裁縫、理科、數學、圖書、國語、英語、音樂、體操トス

第四條 前條各學科ノ學科目ノ外別ニ選修科目ヲ設ケ生徒ノ希望ニ隨ヒテ之ヲ選

修セシメ又科外講話及科外稽古ヲ行ヒ生徒ノ全部又ハ一部ヲシテ聽講又ハ學習セシムルコトアルヘシ

第五條 修業年限ハ四箇年トス

第六條 第二學年以上ノ生徒ニハ學業成績ノ情況ニ依リ規定ノ學科目中一科目又ハ數科目ヲ課セサルコトアルヘシ

第三章 學年、學期及休業

第七條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第八條 學年ヲ分チテ三學期トス第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日ニ至リ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至リ第三學期ハ一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第九條 休業日ハ左ノ如シ

祝日 大祭日

皇后陛下御誕辰

學校記念日

日曜日

春季休業 自三月二十五日 至四月十日

夏季休業 自七月二十一日 至九月十日

冬季休業 自十二月廿五日 至翌年一月七日

第四章 學科程度及教授時數

第十條 各學科ニ屬スル各學科目ノ程度ハ左ノ如シ

◎文科

修身

生徒心得 教育ニ關スル勅語ノ述義 戊申詔書ノ述義 實踐道德 日本道德

史 本邦法制ノ大要 國民道德ノ要領 倫理ノ要領 作法 教授ニ關スル注

意

教育

生理及衛生 心理 論理 教育學 教育史 教授法 保育法 教育法令及學

校管理法 教育實習

國語

講讀 文法 言語學大意 國文學史 書取 作文 詠歌 教授ニ關スル注意

漢文

講讀 教授ニ關スル注意

歷史

國史 東洋史 西洋史 教授ニ關スル注意

地理

地文 人文 内外地理概說

習字

楷書 行書 草書 假名 教授ニ關スル注意

英語

講讀

音樂

唱歌

體操

體操 教練 遊戲 教授法

◎理科

修身

生徒心得 教育ニ關スル勅語ノ述義 戊申詔書ノ述義 實踐道德 日本道德史 本邦法制ノ大要 國民道德ノ要領 倫理ノ要領 作法 教授ニ關スル注意

教育

生理及衛生 心理附論 教育學 教授法 保育法 教育法令及學校管理法 教育實習

數學

算術 代數 幾何 三角法 數學雜論 家事經濟 教授ニ關スル注意

物理

力 物性 熱 音 光 電氣 磁氣 實驗 教授ニ關スル注意

化學

無機化學 有機化學 化學通論 實驗 教授ニ關スル注意

礦物及地質

礦物 地質 實驗 教授ニ關スル注意

植物

形態 生理 生態 分類 實驗 教授ニ關スル注意

動物

各論 通論 進化 實驗 教授ニ關スル注意

生理及衛生

人身生理 衛生 實驗 育兒 教授ニ關スル注意

家事

住居 家具 衣服 食物 養老及看病 實習 教授ニ關スル注意

園事

通論 蔬菜 花卉及果樹ノ栽培 盆栽及庭園ノ管理 學校園ノ管理 實習

教授ニ關スル注意

圖畫及手工

寫生畫 簡單ナル手工具ノ應用

英語

講讀

音樂

唱歌

體操

體操 教練 遊戲 教授法

◎家事科

修身

生徒心得

教育ニ關スル勅語ノ述義 戊申詔書ノ述義

史 本邦法制ノ大要 國民道德ノ要領 倫理ノ要領 作法 實踐道德 日本道德

意 教授ニ關スル注

教育

生理及衛生 心理附論理 教育學 教授法 保育法 教育法令及學校管理法

教育實習

家事

住居 家具 衣服 食物 養老及看病 育兒 家事經濟 實習 教授ニ關ス

ル注意

裁縫

裁チ方 縫ヒ方 繕ヒ方 編物 囊物 刺繡 教授ニ關スル注意

理科

物理及化學 生物 生理及衛生

數學

算術 代數 幾何

圖畫

自在畫 用器畫 圖案

修 身	學 科 目	◎理 科	英語ハ第三學年以上ニ於テハ隨意科目トス								
			時 數	體 操	音 樂	英 語	習 字	地 理	歷 史	漢 文	國 語
三	第一學年		三二	三	二	三	二	二	三	四	八
二	第二學年		三二	三	一	三	二	二	五	四	八
二	第三學年		三二	三	一	三	一	二	六	四	八
二	第 四 學 年	第一學期	三二	三	一	三	一	一	五	三	八
		第二學期前半	三二	三	一	三	一	一	三	三	六
		第二學期後半 第三學期	二八								

教 育	修 身	學 科 目	◎文 科										
			國 語	英 語	講 讀	音 樂	唱 歌	體 操	體 操	體 操			
二	三	第一學年	講讀	書取	作文	習字	國語	英語	音樂	唱歌	體操	體操	體操
三	二	第二學年	體操	教練	遊戲	教授法	第十一條	各學科ニ屬スル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ノ如シ					
三	二	第三學年											
八	二	第 四 學 年	第一學期										
			第二學期前半	一〇	四								
			第二學期後半 第三學期	二八									

學科目	第一學年	第二學年	第三學年	第一學期	第二學期前半	第二學期後半	第三學期
修身	三	二	二	二	五	四	一
家庭	三	二	二	二	六	七	二
裁縫	八	五	六	四	二	六	二
理科	二	二	二	二	二	二	二
數學	二	二	二	二	二	二	二
國語	二	二	二	一	一	一	一

物理、化學、礦物及地質、植物、動物、生理及衛生ハ其ノ各學年每週教授時數ノ通計ヲ變更セサル範圍内ニ於テ其ノ各學年每週教授時數ヲ増減スルコトヲ得

家事、園藝ハ第三學年以上ニ於テハ其一ヲ選修セシムルモノトス

◎家事科

教 育	數 理	物 質	化 學	礦 物 及 地 質	植 物	動 物	生 理 及 衛 生	家 事	園 藝	圖 畫 及 手 工	英 語	音 樂	體 操	時 計
二	五	二	二	二	二	二	二	二	二	二	三	二	三	三
二	五	二	四	四	三	三	三	二	二	二	二	三	三	三
三	四	三	三	三	二	三	二	四	二	二	二	三	三	三
五	四	三	三	三	二	二	二	四	二	二	二	三	三	三
七	二	二	二	二	二	二	二	四	二	二	二	三	三	三
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

英	音	體	時
語	樂	操	數
三	二	三	三
二	三	三	三
一	三	三	三
一	三	三	三
一	三	三	三
一	三	三	二八

四四

第五章 生徒定員、入學、在學及退學

第十二條 生徒ノ定員ハ三百名トス

第十三條 生徒ハ別ニ定ムル所ノ入學者選抜規則ニ依リ選抜ノ上毎年四月入學セシム

第十四條 前條ノ選抜ニ依リ入學スヘキ者ハ身上ニ關シ一切ノ事件ヲ引受クルニ足ルヘキ父兄若クハ親戚等ノ中ニ就キテ保證人ヲ定メ入學ノ際左式ノ保證書ヲ差出スヘシ

④ 參錢收 貼入印紙用

保 證 書

族 籍

氏 名

年月日生

住所

族籍職業

本人トノ關係

氏 名 ④

奈良女子高等師範學校長氏名殿

第十五條 保證人ノ住所遠隔ノ地ニアルトキハ奈良市又ハ其附近ノ地方京都市、大阪市等ヲ含ムニ居住スル者ヲ以テ代理保證人トナスコトヲ得

前項ニヨリ代理保證人ヲ設ケントスルトキハ保證人及代理保證人連署ヲ以テ届出テ校長ノ承認ヲ受クヘシ

第十六條 生徒ハ本校寄宿寮ニ住居セシム

本校規則細則類

四五

寄宿寮ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十七條 病氣其他已ムヲ得サル事故ノ爲メ引續キ二ヶ月以上課業ニ缺席シ若クハ缺席スヘキ事情生シタルトキハ一箇年以内休學ヲ命ス但校長ニ於テ休學ノ必要ヲシト認メタルトメハ本文ニ依ラサルコトアルヘシ

第十八條 在學中左ノ各號ノ一ニ該當スト認メタル者ニハ退學ヲ命ス

- 一、 疾病ニ罹リ勉學ニ堪ヘサル者
- 二、 學業成績不充分ニシテ成業ノ目途立タサル者
- 三、 本校教育ノ旨趣ニ適セサル者
- 四、 品行修マラサル者

第十九條 生徒在學中自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ願フ者ハ在學中ノ授業費ヲ償還スヘシ但シ償還スヘキ授業費ノ全部又ハ一部ヲ文部大臣ヨリ免除セラレタルトキハ此限リニアラス

第二十條 品行修マラサルカ爲メニ退學ヲ命セラレタル者ニハ前條ヲ準用ス

第六章 學業成績評定及卒業

第二十一條 每學期一回以上期日ヲ定メテ生徒ノ學業ヲ試験ス但シ學科目ノ性質ニ依リ試験ヲ行ハサルコトアルヘシ

第二十二條 每學年末ニ於テ平素ノ成績及試験ノ成績ヲ參按シテ學業成績ヲ評定シ及第落第ヲ定ム

第二十三條 第四學年ノ終リニ於テ學業成績及第二相當シ規定ノ學科課程ヲ修了シタリト認メタル者ニハ左式甲號又ハ乙號ノ卒業證書ヲ授與ス

〔甲號〕

卒業證書	
校印	族 籍
	氏 名
	年 月 日 生
右ハ當校何科ノ程課ヲ履修シ其業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス	
年 月 日	

本校規則細則類

番 號

奈良女子高等師範學校長位勳學位爵 氏 名 印

四八

乙 號

(第六條ニ該當スル者ニ授與スル分)

卒 業 證 書

校 印

族 籍

氏

名

年 月 日 生

右ハ當校何科ノ課程何科目ヲ缺クヲ履修シ其業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス

年 月 日

奈良女子高等師範學校長位勳學位爵 氏 名 印

番 號

第七章 選 科

第二十四條 女子師範學校、師範學校女子部又ハ高等女學校ノ卒業生ニシテ文科、理

科又ハ家事科ノ學科目中一科目若クハ數科目ヲ選ヒテ學修セントスル者アルト

キハ教授上差支ナキ場合ニ限り選科生トシテ入學ヲ許ス

第二十五條 選科生ニハ必ス修身及教育ヲ兼修セシム

第二十六條 選科生ハ品行方正身體健全ニシテ入學試験ニ合格スルヲ要ス

前項入學試験ハ所選ノ學科目ノ學修ニ必要ナル學科目ニ就キ高等女學校卒業程

度ニ於テ之ヲ行フ但シ本校ニ於テ教育ヲ受ケ相當ノ學力アリト認メタル者ニハ

試験ヲ須キサルコトアルヘシ

入學試験ハ學年始ニ之ヲ行フ

第二十七條 選科生ノ志願者ニハ左式ノ願書及履歷書ヲ差出サシム

入 學 願 書

私儀御校何科課程中何科目選修致度候ニ付選科生トシテ入學ノ儀御
許可成下サレ度此段相願候也

本校規則細則類

四九

年 月 日

本 籍 族 稱

現 住 所 職 業

戶 主 (何某 何女 何妹 等)

名 印

奈良女子高等師範學校長氏名殿

履 歷 書

本籍道廳府縣市郡區町村大字番地
現住所道廳府縣市郡區町村大字番地
寄留或ハ何某方同居等
道廳府縣華士族平民戶主何某何女
或ハ姉妹等

氏

名

年 月 日 生

戶主職業 何

父 職業 何

母 職業 何

一 學 業

何年何月高等小學校第何學年修了又ハ修業年限何箇年ノ課程卒業

何年何月ヨリ何年何月マテ何所何某ニ就キ又ハ何學校ニ入り何學

科修業

何年何月何府縣師範學校ニ入り何學年ニ編入セラレ何年何月本科(修業年限)

卒業或ハ何年何月何々ニ付高等女學校ニ轉學何學年ニ編入セラ

レ何年何月本科(修業年限)卒業或ハ何年何月何々ニ付半途退學更ニ何

年何月何高等女學校ニ入り何學年ニ編入セラレ何年何月本科(修業年限)

何箇)卒業

何年何月何高等女學校何科入學何年何月修了又ハ退學或ハ現今在

學

何年何月ヨリ何年何月マテ何所何某ニ就キ何學科修業

一 職業

何年何月何日道廳府縣ニ於テ訓導拜命何市郡區町村何學校ニ在勤
 何年何月何日依願退職或ハ現今在勤等
 何年何月何日何官職拜命或ハ何業ニ從事何年何月何日依願免官或
 ハ廢業或ハ現今在職從事等
 一賞罰
 何年何月何所ニ於テ何々ニ付何賞ヲ受ク或ハ何罰ヲ受ク等
 右之通ニ候也

年月日

右

氏名

備考 學校以外ニ於テ學習シタル學科目ハ其教科書及修了セシ程度ヲ記入スヘシ

第二十八條 選科生在學期間ハ二箇年以上四箇年以内トス

第二十九條 選科生ハ毎月授業料トシテ金參圓ヲ當月一日ヨリ五日以内ニ納ムヘシ

但シ但シ授業休止全月ニ亘ル月及休學中ノ分ハ之ヲ徴收セス
 第三十條 選科生ノ課業ハ本科生ト共ニ之ヲ授ク
 第三十一條 所選科目ノ課程ヲ修了セル者ニハ左式ノ卒業證書ヲ授與ス

卒業證書

校印

族籍

名

年月日生

右ハ當校選科生トシテ何科ノ課程中何々科目ヲ選修シ其業ヲ卒ヘタ
 リ因テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

奈良女子高等師範學校長位勳學位爵 氏

名 印

番 號

第三十二條 第七條乃至第十一條、第十四條、第十五條、第十七條、第十八條、第二十一條及第二十二條ハ之ヲ選科生ニ適用ス

附 則

第三十三條 本規則ハ大正五年四月一日ヨリ實施ス
大正二年度以前入學シタル生徒ニ課スヘキ學科課程及其ノ學資ニ關シテハ從前ノ規定ヲ適用ス但シ學科課程ハ適宜斟酌スルコトアルヘシ

二、奈良女子高等師範學校規則（舊）明治四十二年四月制定（大正二年以前ノ入學者ニ適用）

第一章 目 的

第一條 本校ハ女子師範學校、師範學校女子部及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成シ兼テ普通教育及幼兒保育ノ方法ヲ研究スルヲ以テ目的トス

第二條 學科ヲ分テ豫科及本科トス

第三條 豫科ノ學科目ハ修身、國語、漢文、外國語、數學、習字、圖畫、音樂、裁縫、體操トス

明治四十四年十月
本項中習字追加

第四條 本科ハ分テ國語漢文部、地理歴史部、數物化學部及博物家事部トス

第五條 國語漢文部ノ學科目ハ修身、教育學、國語、漢文、外國語、歴史、習字、音樂、體操トス
地理歴史部ノ學科目ハ修身、教育學、地理、歴史、國語及漢文、外國語、法制經濟、音樂、體操トス

數物化學部ノ學科目ハ修身、教育學、數學、物理、化學、外國語、手工、音樂、體操トス
博物家事部ノ學科目ハ修身、教育學、植物、動物、生理及衛生、礦物及地質、家事、外國語、物理及化學、音樂、體操トス

前各項ノ學科目ノ外各部ニ通シテ習字、圖畫、音樂、裁縫、手藝、體操及園藝ヲ加ヘ各生徒ノ長所ニ從ヒ其一科目ヲ選修セシム但當分ノ内本文ノ一科目又ハ數科目ヲ缺キ又生徒ノ長所及學業成績ノ情況ニ由リ之ヲ課セサルコトアルヘシ

第六條 本科各生徒ノ履修スヘキ學部ハ其長所ニ從ヒ各自ノ志望ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第七條 第五條ノ學科目中音樂ハ學習困難ナリト認メタル生徒ニハ之ヲ課セサルコトアルヘシ

第八條 修業年限ハ豫科四箇月、本科三年八箇月トス。

第九條 本科第三學年以上ノ生徒ニシテ學業ノ成績ニ依リ規定ノ學科目中數科目ヲ修ムルヲ適當ト認メタル者ニハ專ラ該科目ヲ履修セシムルコトアルヘシ。

第十條 學年ハ九月十一日ニ始リ翌年七月二十日ニ終ル。

第十一條 學年ヲ分チテ三學期トス、第一學期ハ九月十一日ヨリ十二月二十四日ニ至リ、第二學期ハ一月八日ヨリ三月二十四日ニ至リ、第三學期ハ四月八日ヨリ七月二十日ニ至ル。

第十二條 休業日ハ左ノ如シ。

祝日 大祭日

皇后陛下御誕辰

春日 自三月二十五日 至四月七日

夏季休業 自七月二十日 至九月十日

冬季休業 自十二月廿五日 至翌年一月七日

第四章 學科程度及教授時數

第十三條 豫科ノ各學科目ハ左ニ掲タル程度ニ於テ各生徒ノ素養ヲ參酌シテ之ヲ

教授ス

修身

生徒心得 修徳ノ要旨

國語

講讀 作文

漢文

講讀

外國語

讀方 譯解

數學

算術 代數ノ初歩 幾何ノ初歩

習字
 練習
 圖畫
 自在畫
 音樂
 唱歌 樂器練習(隨意)
 裁縫
 裁方 縫方 繕方
 體操
 普通體操 遊戲
 第十四條 本科各部ニ屬スル各學科目ノ程度ハ左ノ如シ
 第十三條 國語漢文部
 修身
 人倫道德ノ要領 作法 本邦法制ノ大要 教授法

教育學
 心理 論理 教育史 教授法 保育法 教育法令及學校管理法 實地
 練習
 國語 講讀 文法 作文 詠歌 文學史 教授法
 漢文 講讀 文法 作文 教授法
 外國語 讀方 譯解 文法
 歷史 國史 東洋史
 習字
 楷行草 假名
 音樂

唱歌 樂器練習(隨意)

體操

普通體操 遊戲 教授法

◎地理歷史部

修身

人倫道德ノ要領 作法 本邦法制ノ大要 教授法

教育學

心理 論理 教育 教育史 教授法 保育法 教育法令及學校管理法 實地

練習

地理

本邦地誌 外國地誌 地文 地理汎論 製圖法 教授法

歷史

國史 東洋史 西洋史 教授法 實地

國語及漢文

講讀

外國語

讀方 譯解 文法

法制經濟

法制ノ大要 經濟ノ大要

音樂

唱歌 樂器練習(隨意)

體操

普通體操 遊戲 教授法

◎數物化學部

修身

人倫道德ノ要領 作法 本邦法制ノ大要 教授法

教育學

心理 論理 教育 教育史 教授法 保育法 教育法令及學校管理法 實地

練習
 數學 算術 代數 幾何 附用器書 三角法 大教授法
 物理 力 音 熱 光 電氣 磁氣 實驗 教授法
 化學 化學通論 無機化學 有機化學 理論化學大要 實驗 教授法
 外國語 讀方 譯解 文法
 手工 木工 金工
 音樂 唱歌 樂器練習(隨意)
 體操

本校規則類

普通體操 遊戲 教授法
 ◎博物家事部
 修身 人倫道德ノ要領 作法 本邦法制ノ大要 教授法
 教育學 心理 論理 教育 教育史 教授法 保育法 教育法令及學校管理法 實地
 練習 植物 形態 分類 生理 實驗 教授法
 動物 通論 各論 發生 進化 實驗 教授法
 生理及衛生 人身生理 衛生 教授法
 礦物及地質

礦物 地質 實驗 教授法
 家事 衣食住 管理 洗濯 割烹 看護 育兒 家計簿記 教授法
 外國語 讀方 譯解 文法
 物理及化學 物理ノ大要 化學ノ大要
 音樂 唱歌 樂器練習(隨意)
 體操 普通體操 遊戲 教授法
 第十五條 本科各部ニ通シ生徒ヲシテ選修セシムヘキ各學科目ノ程度ハ左ノ如シ
 習字 楷書 行書 草書 假名 書論 教授法

圖書 自在畫 用器畫 美學大意 美術略史 教授法
 音樂 唱歌 樂器練習 樂理大要 和聲大意 音樂略史 教授法
 裁縫 裁方 縫方 繕方 教授法
 手藝 編物 造花 刺繡 紙工 竹工 木工 金工 教授法
 體操 普通體操 遊戲 薙刀 水泳 教授法
 園藝 女子ニ適當ナル園藝ノ理論及實習
 手藝ハ前項規定ノ程度中其ノ一部ヲ專修セシムルコトアルヘシ
 第十六條 豫科ノ各學科目ノ每週教授時數ハ修身二時、國語五時、漢文四時、外國

學科目 學年	地理歴史部每週教授時數表							合計
	修身	學身	地理	歷史	國語及漢文	外國語	法制經濟	
第一學年	二	二	三	四	五	四	十	三一
第二學年	二	二	三	五	五	三	十	三一
第三學年	二	四	三	六	三	三	二	三一
第四學年(第三學期) ナ缺ク	一	一	一	二	二	二	二	二九

學科目 學年	國語漢文部每週教授時數表							合計
	修身	學身	國語	漢文	外語	歷史	習字	
第一學年	二	二	五	四	四	二	一	二二
第二學年	二	二	六	四	三	二	一	二二
第三學年	二	四	六	五	三	一	一	二二
第四學年(第三學期) ナ缺ク	一	一	二	二	一	一	一	一八

語五時、數學四時、習字二時、圖書二時、音樂二時、裁縫三時、體操三時トス但修身ヲ除クノ外生徒ノ各學科目ニ於ケル素養ヲ參酌シテ其每週教授時數ヲ増減スルコトアルヘシ

第十七條 本科各部ニ屬スル各學科目ノ每週教授時數ハ左ノ如シ

學科目 年	備考				音 樂	體 操	選 修 科 目	合 計
	博物	家事	部	每週教授時數表				
第一學年	二	二	二	二	一	三	八	三〇
第二學年	二	二	三	三	一	三	八	三〇
第三學年	二	四	二	二	一	三	八	三〇
第四學年 (第三學期 ナ缺ク)	一	八	一	一	一	二	三	二九

學科目 年	備考				音 樂	體 操	選 修 科 目	合 計
	數物	化學	物理	學部				
第一學年	二	二	二	二	一	三	八	三二
第二學年	二	三	三	三	一	三	八	三二
第三學年	二	四	四	三	一	三	八	三二
第四學年 (第三學期 ナ缺ク)	一	八	一	一	一	二	三	二九

家 事	1	3	3	4
外 國 語	4	3	3	1
物 理 及 化 學	6	1	1	1
音 樂	1	1	1	1
體 操	3	3	3	2
選 修 科 目	8	8	8	3
合 計	30	30	30	29

備考 實驗ニ要スル時數ハ本表時數以外トス

第五章 生徒定員入學在學及退學

第十八條 生徒ノ定員ハ三百名トス

第十九條 生徒ハ別ニ定ムル所ノ入學者選抜規則ニ依リ選抜ノ上毎年四月入學セシム

第二十條 前條ノ選抜ニ依リ入學スヘキ者ハ身上ニ關シ一切ノ事件ヲ引受クルニ

明治四十三年十一月本條改正

足ルヘキ父兄若クハ親戚等ノ中ニ就キテ保證人ヲ定メ入學ノ際其保證書(書一號式)及誓書(書二號式)ヲ差出スヘシ

第二十一條 保證人ノ住所遠隔ノ地ニアルトキハ奈良市又ハ其附近ノ地方(京都市大)ニ居住スルモノヲ以テ代理保證人トナスコトヲ得

前項ニ依リ代理保證人ヲ設ケントスルトキハ保證人及代理保證人連署ヲ以テ届出テ校長ノ承認ヲ受クヘシ

第二十二條 生徒ハ本校寄宿舎ニ居住セシム

第二十三條 本校生徒ニハ事情ニ由リ修學上必要ナル圖書器械ノ類ヲ給與シ又ハ其費用ヲ補給スルコトアルヘシ

給費生ニハ別ニ定ムル所ノ規程ニ依リ定額ノ學資ヲ支給ス

第二十四條 一學年中引續キ二箇月以上課業ニ缺席シ若クハ缺席スヘキ事情生シタルトキハ其學年間休學ヲ命ス但校長ニ於テ休學ノ必要ナシト認メタルトキハ本文ニ依ラサルコトアルヘシ

第二十五條 在學中左ノ各號ノ一ニ該當シ又ハ該當スト認メタル者ニハ退學ヲ命

ス

一 疾病ニ罹リ勉學ニ堪ヘサル者

二 學業成績不充分ニシテ成業ノ目途立タサル者

三 本校教育ノ旨趣ニ適セサル者

四 品行修マラサル者

第二十六條 生徒在學中自己ノ便宜ニ依リ退學ヲ願フ者ハ給費生ニ在リテハ在學中支給セラレタル定額學費及在學中ノ授業費自費生ニ在リテハ在學中ノ授業費ヲ償還スヘシ但シ償還スヘキ學費及授業費ノ全部又ハ一部ヲ文部大臣ヨリ免除セラレタルトキハ此限ニアラス

授業費ノ額ハ別ニ之ヲ定ム

第二十七條 品行修マラサルカ爲メニ退學ヲ命セラレタル者ニハ前條ヲ準用ス

第二十八條 每學期末及每學年末ニ於テ生徒ノ學業ヲ試験ス但學科目ノ性質ニ依

リ試験ヲ行ハサルコトアルヘシ

前項ノ外平素ノ成績考査ノ爲メ臨時試験ヲ施行スルコトアルヘシ

第二十九條 豫科修了期及本科每學年末ニ於テ平素ノ成績及試験ノ成績ヲ參照シテ學業成績ヲ評定シ及第落第ヲ定ム

第三十條 校長ハ本科第四學年ノ終ニ於テ學業成績及第ニ相當シ規定ノ學科ヲ修了シタリト認メタル者ニ第三號書式又ハ第四號書式ノ卒業證書ヲ授與ス

書式第一號 (用紙美濃紙)

印

保 證 書

參錢收
貼入印紙
用紙

族 籍

姓

名

生 年 月 日

右者今般御校ニ入學致候ニ付テハ御校御規則御命令等遵守可爲致ハ
勿論本人身上ニ關スル一切ノ事件ハ拙者引受ケ處辨可仕候依テ証書
如件

年月日

住所
族籍職業
本人トノ關係
姓

名

奈良女子高等師範學校長何某殿

書式第二號

(用紙美濃紙)

誓

書

參錢收
入印紙
貼用

私儀今般御校ニ入學仕候ニ付テハ御校御規則並御命令ヲ遵守仕ルヘ
キハ勿論卒業ノ上ハ御校卒業生服務規則ヲ遵奉シ精勵國家教育ノ業
務ニ從事可仕候依テ誓書如件

年月日

本籍 族稱
何所住戶主何某何女(本人戶主ニ
姉妹等(アラサレハ)

某

大正元年十二月

改正

奈良女子高等師範學校長何某殿

書式第三號

卒業證書

校印

族

籍

某

生年月日

右ハ當校本科何部ノ課程ヲ履修シ兼テ何々(選修科目)ヲ選修シ(選修科目
ヲ缺キタ
ル者ニハ「兼テ」
以下八字ヲ省ク)其業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之ヲ證ス

年月日

學校長位勳學位爵

何

某

印

番號

本校規則細則類

書式第四號

(第九條ニ該當スル者ニ授與スル分)

卒業證書

校印

族籍

何

生年月日

某

右ハ當校本科何部中何々ノ課程ヲ履修シ其業ヲ卒ヘタリ因テ茲ニ之

ヲ證ス

年月日

學校長位勳學位爵 何

某 印

番號

三、奈良女子高等師範學校研究科規則

大正二年二月制定

第一條 本校所設ノ學科目中某科目ヲ專攻セントスル者ノ爲ニ研究科ヲ設ク

第二條 研究科ノ修業年限ハ一箇年以上二箇年以内トス

第三條 研究科生タラントスル者ハ本校卒業生若クハ之ト同等ノ學力ヲ有スト認メラレタル者タルヘシ

第四條 研究科入學志願者ハ左記書式ニ依リ願書ニ履歷書及身體檢查書ヲ添ヘ保證人連署ヲ以テ出願スヘシ

本校卒業生ニシテ卒業後直ニ研究科ニ入學ヲ志願スル者ハ履歷書及身體檢查書ヲ添附スルヲ要セス

保證人ハ本人身上ニ關シ一切ノ事件ヲ引受クルニ足ルヘキ父兄若クハ親戚等ノ中ニ就キ之ヲ定ムヘシ

第五條 研究科入學ハ校長ニ於テ入學志願者ノ人物、學力及研究科目ヲ適當ト認メ且ツ設備等差支ナシト認メタル場合ニ限り之ヲ許ス

第六條 研究科生ハ校長ノ指定スル教官ノ指導ニ由リ研究ニ従事スヘシ

第七條 研究科生ニハ學資トシテ在學中毎月金拾五圓以内ヲ支給スルコトアルヘシ

第八條 研究科生ニハ研究ノ結果ヲ審査シ相當ト認メタルトキハ研究證明書ヲ授與ス

第九條 本校規則第二十一條第二十三條第一項第二十四條乃至第二十七條ハ之ヲ研究科生ニ準用ス

(書式)

入學願書

私儀某學科目研究志望ニ付何年間御校研究科ニ入學致度候間御許可被成下度此段相願候也

年月日

本人何

某

族籍 (寄留者ハ寄留籍ヲ併記シヘシ)

戸主何某兼女姉妹等(本人戸主ニアラサレハ)

族籍

住所職業本人トノ續柄

保證人 何

某

奈良女子高等師範學校長何某殿

四、生徒心得

大正五年四月制定

- 一本校生徒ハ教育ニ關スル勅語并ニ戊申詔書ノ聖旨ヲ奉體シ日々其實踐躬行ニ務ムヘシ
- 一本校生徒ハ師範教育ノ趣旨ニ遵ヒ智徳ヲ研磨シ身體ヲ鍛鍊シ以テ人ノ師表タランコトヲ期スヘシ
- 一本校生徒ハ常ニ婦徳ノ修養ヲ務メ勤勞ノ習慣ヲ養ヒ家事ヲ實習シ以テ本邦婦人ノ典型タランコトヲ期スヘシ
- 一本校生徒ハ自學自修ノ主義ニ據リ學術ノ研究ニ務メ健全ナル常識ヲ養ヒ以テ其應用ノ才ヲ長センコトヲ務ムヘシ

一 本校生徒ハ協同自治ノ精神ヲ以テ事ニ當リ相互ニ切磋磨勵シテ校風ノ振作ニ務ムヘシ

五、生徒例規

大正五年四月制定

◎教室

- 第一條 教室ニ於ケル席順ハ後列ヨリ身長順ニ依ルヘシ
- 第二條 課業時間以外ニ教室ニ留ラントスルトキハ教官ノ許可ヲ受クヘシ
- 第三條 休業日ニ實驗實習等ノ爲教室ヲ使用セントスルトキハ豫メ擔任教官ニ申出テ其承認證ヲ受ケ教室使用ノ際之ヲ宿直員ニ差出シテ開室ヲ請ヒ使用終リタルトキハ直ニ其旨宿直員ニ報告スヘシ
- 第四條 父母祖父母兄弟姉妹等ノ近親死亡シタルトキハ凡ソ日數ヲ限リテ忌引シ其旨届出ツヘシ
- 第五條 學級毎ニ學級當番ヲ置ク學級當番ハ正副各壹名トシ毎月交替セシメ副當番ハ翌月ニ於テ正當番トナルモノトス

學級當番ノ氏名ハ教務課ヨリ前月末ニ之ヲ指定ス

第六條

學級當番ノ主要ナル任務ハ凡ソ左ノ如シ

- 一 缺課セシ者アルトキハ之ヲ缺席調表ニ記入シ毎時限擔任教官ニ呈示シテ其檢閲ヲ受クルコト
 - 二 學級通録ノ記録并ニ統計ヲ作ルコト
 - 三 修學旅行費積立金ノ取纏メ并ニ出納ヲ掌ルコト
 - 四 教室ノ清潔整頓及空氣ノ流通温度等ニ注意シ適宜ノ處置ヲ爲スコト
 - 五 學校ヨリ命セラレタルコトヲ學級ニ傳フルコト
 - 六 學級全體ニ關スル諸般ノ斡旋ヲナスコト
- 副當番ハ正當番ヲ補助シ正當番故障アルトキハ其代理ヲナスモノトス

◎寮舎

第七條 寮内起居ノ時間ヲ定ムルコト左ノ如シ

事項	時期
晨起	三月一日ヨリ五月末日マテ 九月十一日ヨリ十月末日マテ
	午前五時五十分
	午前五時
	午前六時
	六月十一日ヨリ 十一月一日ヨリ
	九月十一日ヨリ十月末日マテ
	十一月一日ヨリ
	十二月一日ヨリ

門限	午後五時三十分	午後六時	午後五時
一般自修	午後七時マヨテリ	午後七時マヨテリ	午後七時マヨテリ
就	乃至午後九時三十分	乃至午後九時三十分	乃至午後十時三十分

第八條 毎日特定時間内ハ全寮一般自修ヲ爲スヘシ
但休業日ノ前日ハ一般自修ノ時間ヲ定メス

第九條 休業日及放課後ハ規定ノ門限マテ外出ヲ許ス

第十條 外出スルトキハ其出入時刻及先行ノ場所氏名用務ノ大要ヲ備付ノ帳簿ニ記入スヘシ

第十一條 外出時限外臨時ニ外出ノ必要ヲ生シタルトキ又ハ木津、西大寺、郡山、法隆寺、帯解、丹波市等へ外出セントスルトキハ其事由ヲ具シ寮務主幹ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條 夏季休業中在舍セントスルトキハ其期間ヲ定メ願出ツヘシ

第十三條 生徒疾病ニ罹リタルトキハ各舎ニ備付アル患者申告簿ニ所定ノ事項ヲ記入シ寮務主幹ノ檢閲ヲ受クヘシ但病者ニ於テ其手續ヲ爲スコト能ハサル場合

ハ同舎ノ者代リテ本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條 生徒疾病ニ罹リタルトキハ醫師ノ診斷ニ由リ其病症ノ種類及輕重ニ從ヒテ靜養室ニ入ラシメ或ハ校外ニ於テ療養セシム

第十五條 特別ノ事情アル場合ノ外校外ノ内外ヲ問ハス金錢ノ貸借ヲ許サス

第十六條 來訪者ニ面會セント欲スルトキハ面會簿ヲ寮務主幹ニ差出シテ許可ヲ受ケ應接室ニ於テ面會スヘシ

面會人ヲ寮舎ニ案内セントスル場合又ハ寮舎ニ宿泊セシメントスル場合モ寮務主幹ノ許可ヲ受クヘシ

◎集會

第十七條 各學科及各學級生徒相互ニ智徳ヲ練磨シ且親睦ヲ圖ル爲各學科會及各級會ヲ設ク

第十八條 學科會ハ學科部主任教官ノ指揮ヲ受ケテ開會スルモノトス

第十九條 級會ハ學科主任教官ノ承認ヲ經テ開會スルモノトス

第二十條 學科會ハ每學期一回以上級會ハ每學期二回以上開會スルモノトス

第二十一條 級會ハ教官ノ臨席ナクシテ之ヲ開クコトヲ得

第二十二條 校友會學科部會級會及其他ノ集會ヲ開カントスルトキハ其開會日時場所及次第ヲ記シテ届出ツヘシ
但校友會學科部會及級會以外ノ集會ニハ開會ノ目的ヲモ記スヘシ

◎歸郷及旅行

第二十三條 自己ノ病氣療養又ハ父母ノ病氣看護ノ爲外泊若クハ歸郷セントスルトキハ豫メ日限ヲ定メ自己ノ病氣ニハ校醫ノ診斷書父母ノ病氣ニハ主治醫ノ診斷書ヲ添ヘ其旨願出ツヘシ但父母ノ病氣ノ場合ハ電報又ハ書面ヲ以テ診斷書ニ代フルコトヲ得

前項但書ノ場合ニハ歸郷ノ上診斷書ヲ差出スヘシ
第二十四條 歸郷若クハ外泊中ニ自己又ハ父母等ノ病氣ノ爲歸校ヲ延期スル必要アルトキハ豫メ日限ヲ定メ主治醫ノ診斷書ヲ添ヘ保證人連署ヲ以テ歸校日限内ニ願出ツヘシ若シ急ヲ要スル場合ニハ先ツ電報ニテ願置キ後ニ本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十五條 夏季休業中ハ歸郷セシムルヲ常例トス

第二十六條 春季休業中又ハ冬季休業中歸郷セントスルトキハ其理由ヲ具シ願出ツヘシ

第二十七條 休業中旅行セントスルトキハ其理由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

第二十八條 受診ノ爲京都市、大阪市等へ旅行セントスルトキハ其旨届出ツヘシ
校醫ノ診斷ニ依ラサル場合ニ於テハ診察醫ノ診斷書ヲ請ヒ歸校ノ際提出スヘシ

第二十九條 實地見學ノ爲教官指導ノ下ニ自費ヲ以テ旅行セントスルトキハ其要項ヲ具シ願出ツヘシ

第三十條 東京方面修學旅行ニ際シ東京市又ハ其隣接町村ニ自家又ハ近親ヲ有スル者東京市滞在中修學上差支ナキ限ニ於テ旅行團ヲ離レテ宿泊ヲ爲サントスルトキハ出發前ニ保證人連署ヲ以テ其旨願出ツヘシ
第三十一條 修學旅行ニ際シ病氣ノ爲其旅行ノ全部又ハ一部ヲ缺カントスルトキハ其旨届出ツヘシ

第三十二條 總テ歸郷ノ爲出發スル際ニハ出發届ヲ差出シ到着ノ上直ニ保證人連者ヲ以テ歸着届ヲ差出スヘシ

第三十三條 許可ヲ受ケタル旅行ノ爲出發スル際ニハ出發届ヲ差出シ到着ノ上ハ直チニ到着届ヲ差出スヘシ

第三十四條 一泊以上修學旅行ヲ爲シタルトキハ歸校後直ニ歸校届ヲ差出スヘシ

第三十五條 歸郷外泊若クハ許可ヲ受ケ旅行シタル後歸校シタルトキハ直ニ歸校届ヲ差出スヘシ

第三十六條 歸郷旅行等往復ノ途中病氣其他ノ事故ノ爲期限内ニ到着スルコト能ハサルトキハ直ニ電報ニテ届出ツヘシ

◎積立金

第三十七條 生徒ハ修學旅行費ニ充ツル爲毎年八月ヲ除キ毎月金五拾錢以上積立ツヘシ

第三十八條 修學旅行積立金ハ學級毎ニ生徒ノ互選シタル代表者貳名ノ名義ヲ以テ郵便局又ハ確實ナル銀行ニ預ケ入ルヘシ

第三十九條 各學級當番ハ毎月當該學級ノ積立金ヲ集メテ郵便局又ハ銀行ニ預入ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十條 各學級ニハ積立金出納簿ヲ備ヘ學級當番預金通帳ト共ニ順次引繼キテ之ヲ整理保管スヘシ

第四十一條 學級當番ハ毎月末積立金出納簿及預金通帳ヲ學科部主任教官ニ差出シ其檢閲ヲ受クヘシ

第四十二條 修學旅行ノ際ハ學級當番ニ於テ必要ノ金額ヲ郵便局又ハ銀行ヨリ受取り修學旅行會計係ニ交付スヘシ

第四十三條 修學旅行費精算ノ結果剩餘金アリタルトキハ修學旅行會計係ヨリ學級當番ニ還付シ學級當番ハ直チニ郵便局又ハ銀行ニ預ケ入ルヘシ

第四十四條 歸省又ハ休學等ニテ積立ヲナス能ハサリシ者ハ歸校後直ニ之ヲ填補スヘシ

第四十五條 修學旅行ニ加ハラサリシ者ニハ其旅行ニ支出シタル壹人分ノ金額ヲ返却スヘシ

第四十六條 學年成績考查又ハ休學ノ結果原學年ニ留リタル者ニハ舊所屬學級ニ於ケル積立金殘額一人平均額ニ相當スル金額ヲ返却シ新所屬學級ニ於ケル同上
 一人平均額ニ相當スル金額ヲ新所屬學級積立金ニ納入セシムヘシ

第四十七條 生徒退學又ハ卒業ノ際積立金殘額アルトキハ其一人平均額ヲ各生徒ニ返却スヘシ

◎預金

第四十八條 多額ノ金錢ヲ所有スルトキハ之ヲ寮務主幹ニ預ケ置クヘシ

第四十九條 生徒現金ヲ寮務主幹ニ預入ル、ニハ納票ニ金額氏名差引殘高等ヲ詳記シ捺印ノ上現金ヲ添へ出納明細簿ト共ニ差出シ預入レノ證印ヲ受クヘシ

第五十條 學資金ノ給與ヲ受ケタルトキハ生徒ハ自己ノ出納明細簿ニ其金額及差引殘高ヲ記入シ捺印ノ上出納明細簿ト共ニ寮務主幹ニ差出シ預入レノ證印ヲ受クヘシ

第五十一條 生徒現金ノ拂戻ヲ要スルトキハ引出切符ニ金額氏名及差引殘高等ヲ詳記シ前日マテニ寮務係ニ差出スヘシ

第五十二條 現金ノ拂戻ヲ受クル場合ニハ引出切符ノ受領欄ト自己ノ出納明細簿トニ捺印シ引出切符ヲ寮務係ニ差出スヘシ

◎服

第五十三條 服裝ハ總テ素質ヲ旨トスヘシ袴ノ色合ハ青紫色ヲ標準トシ新調ノ節ハ之ニ依ルヘシ

第五十四條 課業時間外本校構内ニ於テハ袴ヲ着ケサルコトヲ得其場合ニハ縞子又ハモスラン類ノ帶ヲ用フヘシ

第五十五條 祝祭日儀式及卒業式ニハ紋付ヲ着用スヘシ

◎願及届

第五十六條 願書及届書ハ其歸郷旅行外泊等直接寄宿寮ニ關スルモノハ寮務係ニ其他ノモノハ教務課ニ差出スモノトス

願及届ハ特ニ示定シタルモノ、外ハ總テ學校長宛ニ認ムルモノト心得ヘシ但電報ノ場合ニハ學校宛ト爲スヘシ

六、入學者選抜規則

大正三年九月制定

- 第一條 本校ニ入學スル者ハ師範學校又ハ高等女學校本科ノ優等卒業者ニシテ左記各號ノ要件ヲ具備シ地方長官ヨリ薦舉セラレタル者タルヲ要ス但師範學校又ハ高等女學校本科在學中ノ優等生徒ニシテ該學校長ニ於テ現學年內ニ卒業スヘシト認メタル者ハ本文卒業者ニ準ス
 - 一、資性善良操行端正ニシテ身體健全ナル者
 - 二、卒業後敎職ニ從事セントスル志操堅確ナル者
 - 三、年齢二十二年未滿ニシテ夫ヲ有セサル者
- 第二條 師範學校又ハ高等女學校ノ優等卒業者又ハ優等生徒ト認ムヘキ者ハ其ノ學業成績本科最終學年及其前學年ニ於テ其學級ノ及第者中首位ヨリ數ヘテ全員ノ六分ノ一ニ至ルマテノ順位ニ在ル者トス但生徒ニアリテハ薦舉ノ當時ニ於テ判定ヲ了リタル現學年最近ノ成績ヲ以テ假リニ最終學年ノ成績ト見做ス
- 第三條 前二條但書ニ依リ薦舉セラレタル師範學校又ハ高等女學校本科在學中ノ

優等生徒ニシテ該學年內ニ卒業セザリシトキ又ハ該學年末ノ成績第二條本文ニ該當セザリシトキハ其薦舉ノ効力ヲ失フモノトス

第四條 入學志望者ノ身體健全ト認ムヘキ者ハ左記各號ニ該當セサル者タルコトヲ要ス

- 一、身長四尺七寸ニ滿タサル者但身長四尺六寸以上ノ者體質優良ニシテ他ノ缺陷ナキトキハ入學セシムルコトアルヘシ
- 二、發育又ハ營養不十分ナル者
- 三、身長(寸)ヲ以テ體重(斤)ヲ除シ其商二三〇ニ滿タサル者又ハ胸圍(常時)身長ノ二分ノ一ニ滿タサル者但體質優良ニシテ他ノ缺陷ナキ者ハ入學セシムルコトアルヘシ
- 四、脊柱彎曲又ハ扁平胸若クハ漏斗胸其他胸廓異常ノ者
- 五、神經衰弱癩癩其他精神機能ニ障害アル者
- 六、傳染性眼炎ヲ患フル者又ハ色盲、亂視、強度ノ近視、弱視、斜視ノ者但近視ハ眼鏡十度以內ニテ中心視力ヲ $\frac{20}{20}$ マテ補正シ得ルモノハ差支ナシ

七、聽官又ハ言語ノ障害著シキ者

八、肺結核其他結核性ノ疾病ニ罹レルカ又ハ其ノ諸兆アル者

九、心臟瓣膜病ヲ患フル者

十、惡性腫瘍、腎臟炎、糖尿病又ハ重症貧血病若クハ婦人病ヲ患フル者

十一、全身ノ健康ニ直接ノ關係アル慢性ノ疾患アル者又ハ修學上ニ妨アル疾病ニ罹リ急治ノ見込ナキ者若クハ他ニ感染ノ虞アル疾病ヲ患フル者

十二、畸形ニシテ體操其他ノ授業ニ差支アル者又ハ被服ヲ以テ蔽フ能ハサル部分ニ著シキ異常變形ヲ有スル者又ハ腋臭ヲ有スル者

第五條 學校長ハ毎年薦舉ニ關スル要件ヲ定メ之ヲ各地方長官ニ通知スヘシ

第六條 學校長ハ薦舉生中ニ就キ地方長官ヨリ送付シタル薦舉書、人物考定書、學業成績書、身體檢查書、履歷書及學科ニ關スル志望書ヲ參按シ試験ヲ須ヒスシテ入學セシムヘキ者ヲ選抜ス

第七條 前條ニ依リ入學セシムヘキ者ヲ選抜シタルトキハ之ヲ官報ニ掲載シ學校長ヨリ各薦舉生ノ選抜又ハ不選抜ヲ當該地方長官ニ通知ス

第八條 第六條ニ依リ選抜セシ人員各學科募集定員ニ滿タサルトキハ補缺ノ爲メ第一條第一號乃至第三號ノ要件ヲ具備シ左ニ掲クル資格ヲ有スル入學志望者ヲ募集シ國語、英語、算術ノ三科目ニ就キ試験ヲ行ヒ選抜ノ上入學セシムルコトアルヘシ

一、女子師範學校又ハ師範學校女子部卒業者

一、高等女學校卒業者

一、實科高等女學校卒業者

一、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定合格者

一、專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ該當スル者

一、小學校本科教員ノ免許狀ヲ有スル者

第九條 前條ニ依リ入學セシムヘキ者ヲ選抜シタルトキハ之ヲ官報ニ掲載シ且選抜生ニ通知ス

第十條 第六條及第八條ノ選抜生ニハ本校ニ於テ更ニ身體檢查及口頭試問ヲ施行ス但學校長ニ於テ必要ナシト認ムル者ニハ本文檢查又ハ試問ヲ行ハサルコトア

ルヘシ

第十一條 前條ニ依リ施行スル身體検査ニ於テ第四條ニ記載セル各號ノ一ニ該當スル者及口頭試問ニ於テ本校生徒タルニ適セスト認ムル者ニハ選抜ヲ取消スモノトス

七、獎勵學資支給規則

大正三年十一月制定

第一條 本校生徒中學力優等品行方正ニシテ他ノ模範トスルニ足ルヘキ者又ハ多年教職ニ從事シタル者ノ子ニシテ學資支辨ニ困難ナル事情アルトキハ詮議ノ上獎勵學資ヲ支給ス

前項所定ノ資格ナキモ入學後家計ニ異動ヲ生シ學資支辨困難トナリタル生徒ニハ詮議ノ上獎勵學資ヲ支給スルコトアルヘシ

第二條 獎勵學資ハ第一學年生ニアリテハ一箇月金六圓以内第二學年生以上ニアリテハ一箇月金六圓以上拾貳圓以内トス

第三條 獎勵學資ノ支給ヲ希望スルモノハ其ノ事情ヲ具シ保證人連署ノ上出願ス

ヘシ

第四條 獎勵學資ノ支給ヲ受クヘキ者及其ノ受クヘキ金額ハ給資志望者中ニ就キ

第一條所定ノ事項ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第五條 獎勵學資ハ毎月中旬之ヲ支給ス但休學又ハ歸郷外泊等全月ニ亘ルトキハ其月分ヲ支給セス

第六條 獎勵學資ヲ受クル者ニシテ第一條ノ規定ニ適合セスト認ムヘキ事情生シタルトキハ其ノ支給ヲ取消スモノトス

八、學資支給規則

明治四十三年十一月制定

第一條 本校生徒ニ支給スヘキ定額學資ハ甲種一ヶ月金七圓及乙種一ヶ月金四圓ノ二種トス

第二條 定額學資ノ支給ヲ受クヘキ者及其受クヘキ學資ノ種類ハ本校生徒本科編入ノ際給費志望者中ニ就キ學業及家計ノ情况ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第三條 退學、休學又ハ歸郷外泊等ノ爲在校全月ニ滿タサル月ノ學資ハ日割ヲ以テ

支給ス此場合ニ於テハ甲種ハ一日金貳拾參錢乙種ハ一日金拾參錢ノ割ヲ以テ計算ス

第四條 學力優等品行方正ニシテ他ノ模範タルヘキ生徒又ハ多年教職ニ從事シタル者ノ子ニシテ特別ノ事情アル生徒ニハ學資月額金拾貳圓マテ支給スルコトアルヘシ

第五條 學資ハ毎月計算シ翌月十日マテニ之ヲ支給ス

第六條 本科第二學年以下ノ給費生ニシテ特別ノ事情ニ由リ既ニ受ケタル定額學資ノ全額ヲ償還シ自費生タランコトヲ欲スル者保證人連署ヲ以テ願出ツルトキ該保證ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

九、修學旅行費積立規程

大正三年一月制定

第一條 生徒ハ修學旅行費ニ充ツル爲毎年八月ヲ除キ毎月金五拾錢以上積立ツヘシ
第二條 修學旅行積立金ハ學級毎ニ生徒ノ互選シタル代表者二名ノ名義ヲ以テ確實ナル銀行ニ預ケ入ルヘシ

第三條 各學級當番ハ毎月當該學級ノ積立金ヲ集メテ銀行預入ノ手續ヲ爲スヘシ

第四條 各學級ニハ積立金出納簿ヲ備ヘ學級當番預金通帳ト共ニ順次引繼キテ之ヲ整理保管スヘシ

第五條 學級當番ハ毎月末積立金出納簿及預金通帳ヲ學科主任教授ニ差出シ其ノ檢閲ヲ受クヘシ

第六條 修學旅行ノ際ハ學級當番ニ於テ必要ノ金額ヲ銀行ヨリ受取リ修學旅行會計係ニ交付スヘシ

第七條 修學旅行費精算ノ結果剩餘金アリタルトキハ修學旅行會計係ヨリ學級當番ニ還付シ學級當番ハ直チニ銀行ニ預ケ入ルヘシ

第八條 歸省又ハ休學等ニテ積立ヲナス能ハサリシ者ハ歸校後直チニ之ヲ填補スヘシ

第九條 修學旅行ニ加ハラサリシ者ニハ其旅行ニ支出シタル一人分ノ金額ヲ返却スヘシ

第十條 學年成績考查又ハ休學ノ結果原學年ニ留マリタル者ニハ舊所屬學級ニ於

ケル積立金殘額一人平均額ニ相當スル金額ヲ返却シ新所屬學級ニ於ケル同上一人平均額ニ相當スル金額ヲ新所屬學級積立金ニ納入セシムヘシ
第十一條 生徒退學又ハ卒業ノ際積立金殘額アルトキハ其ノ一人平均額ヲ各生徒ニ返却スヘシ

十、寄宿寮規則

大正五年四月改正

第一條 寄宿寮ハ生徒ヲシテ協同和樂ノ中ニ於テ學業ヲ修習シ德行ヲ練磨シ兼テ家事ヲ實習セシムル所トス
第二條 寄宿寮ハ分チテ五寮二十舍トシ一舍ヲ以テ一家ニ當ルモノトス
第三條 一舍ノ人員ハ十二人乃至十五人トシ學部學年及出身地方ヲ斟酌シテ之ヲ配當ス
第四條 各舍ニ舍長副舍長各壹人ヲ置キ上級生ヲ以テ之ニ充ツ
舍長ハ舍ニ關スル一切ノ責ニ任ス
副舍長ハ舍長ヲ輔佐シ舍長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第五條 各舍生徒ハ協同シテ炊事湯浴舍内外ノ清潔整頓其他舍ニ關スル一切ノ事項ヲ處辨スルモノトス

十一、圖書館規則

大正三年九月制定

第一條 奈良女子高等師範學校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ收藏シ且之ニ關スル事務ヲ處理スル所トス
第二條 圖書閱覽室ハ大祭祝日、皇后陛下御誕辰、學校紀念日、日曜日及七月廿五日ヨリ八月三日迄十二月廿八日ヨリ一月五日迄ヲ除クノ外毎日之ヲ開ク其時限ハ時々揭示スヘシ
但時宜ニヨリ臨時閉館スルコトアルヘシ
第三條 左ニ掲クル者ハ閱覽室ニ於テ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得
一、本校及附屬校園職員
二、本校生徒及卒業生
一、滿二年以上在職シタル舊職員

一、學校長ヨリ特ニ閱覽ノ許可ヲ得タル者

第四條 閱覽室ニ於テハ靜肅ヲ守リ音讀雜誌ヲナスヘカラス

第五條 本校職員ハ圖書借受又ハ閱覽ノ爲書庫ニ入り圖書ヲ檢索スルコトヲ得

第六條 本校生徒ニシテ圖書ヲ閱覽セントスルトキハ圖書目錄ニ依リ書名部號、番號、冊數、氏名等ヲ閱覽室備付ノ閱覽證用紙ニ記入シ係員ニ差出シテ其圖書ヲ受取リ閱覽室内ニ於テ之ヲ閱覽シ閱覽済ノ上ハ係員ニ返付スヘシ

閱覽室備付ノ圖書ハ任意ニ取出シ閱覽スルコトヲ得閱覽了レハ原位置ニ納メ置クヘシ

第七條 研究科生及本校第三、四學年生徒ハ係員ノ許可ヲ得テ書庫ニ藏セル圖書ヲ檢索スルコトヲ得其閱覽手續ハ前條ノ規定ニ依ル但書庫ニ入ル時ハ鉛筆ノ一トノ外其他ノ物品ノ携帯ヲ許サス

第八條 本校生徒ニシテ貴重圖書ヲ閱覽セントスルトキハ當該學科受持教官ノ證明ニ依リ主幹ノ承認ヲ經タル上閱覽手續ヲ爲スヘシ

第九條 學科ニ依リ常ニ必要ノ圖書ハ學校長ノ許可ヲ得テ其所屬特別教室ニ備付

クルコトヲ得執務上必要ナル圖書モ亦同シ之ニ關スル細則ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第十條 教授、助教授及講師ハ二十部五十冊ヲ限リ其他ノ職員ハ五部二十冊ヲ限リ本校生徒ハ當該學科受持教官ノ證印ニ依リ二部五冊ヲ限リ主幹ノ承認ヲ經テ圖書ヲ借受クルコトヲ得

特別教室ナキ學科ヲ擔任スル教授、助教授及講師ハ學校長ノ許可ヲ得テ借用部數ヲ増スコトヲ得

第十一條 貴重書、辭書、閱覽室備付書及禁帶出ノ印アル圖書ハ閱覽室外ニ携出スルコトヲ得ス携出セントスル者ハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ
貴重書ハ其學科ニ關スル教授、助教授及講師ニ限リ主幹ノ承認ヲ經テ一日間借受クルコトヲ得二日以上ニ渉ル時ハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條 圖書ヲ借受ケントスル者ハ圖書館ニ就キ圖書借用證用紙ニ書名部號番號、冊數、氏名年月日等ヲ詳記シ捺印ノ上差出スヘシ

第十三條 借受ケタル圖書ハ總テ他人ニ轉貸スルコトヲ許サス

第十四條 夏期休業中圖書ヲ借受ケントスル時ハ主幹ヲ經テ學校長ノ許可ヲ受ケ借入ノ手續ヲ爲スヘシ

第十五條 借受ケタル圖書ハ毎年七月二十日迄ニ悉皆返納シ又夏季休業中借受ニ係ル分ハ休業末日迄ニ必ス返納スヘシ

但時宜ニ依リ臨時ニ返納セシムルコトアルヘシ

第十六條 職員ノ退職、休職、轉任及生徒ノ休學、退學シタル者ハ其借受セル圖書ヲ直ニ返納スヘシ卒業スヘキ生徒ハ卒業證書ヲ受クル前ニ必ス返納スヘシ

第十七條 借受ケタル圖書ヲ亡失又ハ毀損シタル者ハ其事實ヲ詳記シタル書面ヲ主幹ニ差出スヘシ

十二、理科共同標本室規則

大正三年六月制定

第一條 理科共同標本室ハ理科諸學科目ニ關連セル應用標本ヲ備付ケ生徒ノ學習及常識養成ニ資スル所トス

第二條 本室ニ主任一名及商議員若干名ヲ置テ主任ハ標本ノ整理及保管ニ任シ商

大正二年十月本
條改正

議員ハ本室經營上ノ重要ナル事項ヲ商議ス

第三條 本室ニ備付ケタル標本ノ檢索ニ便ナラシメンカ爲メ標本目錄ヲ置ク

第四條 備付ノ標本ハ室外ニ携出セサルヲ以テ本體トス

但教授上必要アル場合ハ係員ノ承諾ヲ得期限ヲ定メテ之ヲ携出スルコトヲ得

第五條 職員ハ隨時ニ標本ヲ觀察シ必要ニ應シテハ手ニ取リテ觀察スルコトヲ得

第六條 生徒ハ規定ノ時間内ニ於テ標本ヲ觀察スルコトヲ得若シ手ニ取リテ觀察セントスル時ハ係員ノ承諾ヲ受クヘシ

第七條 標本ヲ毀損シタル時ハ其事由ヲ詳記セシ書面ヲ係員ニ差出スヘシ

第八條 生徒ノ入室時限ハ時々之ヲ揭示ス

十三、評議會規程

大正元年九月制定

第一條 評議會ハ校長ノ諮詢ニ應シテ重要ノ校務ヲ審議スルモノトス

第二條 評議員ハ左ノ職員ヲ以テ之ニ充ツ

一 庶務主幹

二 教務主幹

三 學部主任

四 校長ノ指名スル生徒監

五 附屬校園主事

六 校長ノ指名スル教授 六名以内

前項第六號ノ評議員ノ任期ハ三箇年トス

第三條 校長ハ評議上必要ト認ムルトキハ評議員以外ノ職員ヲシテ會議ニ加ハラシムルコトアルヘシ

評議會ニ於テ決議ヲ爲ス場合ニ於テハ前項ノ職員ハ其採決ノ數ニ加ハラサルモ

第四條 評議會ハ毎月八月ヲ除ク一回之ヲ開ク但臨時ニ開會スルコトアルヘシ

第五條 評議會ノ議事ハ本校書記ヲシテ其要領ヲ記錄セシム

十四、事務分掌規程

大正四年四月改定

第一條 本校ニ教務課及庶務課ヲ置キ事務ヲ分掌セシム

第二條 各課ニ主幹ヲ置キ職員中ヨリ校長之ヲ命ス

主幹ハ各課所管事務ノ指揮監督ニ關シ校長ヲ佐クルモノトス

第三條 教務課ノ所管事務左ノ如シ

一 學科課程及日課ニ關スルコト

二 教育實習ニ關スルコト

三 試験及成績考查ニ關スルコト

四 生徒ノ募集、入學、休學及退學ニ關スルコト

五 生徒ノ學籍ニ關スルコト

六 生徒ノ課業出缺席ニ關スルコト

七 研究科生ノ研究ニ關スルコト

八 教室及教具ニ關スルコト

- 九 教科書及生徒學用品ニ關スルコト
- 十 生徒ノ訓育及管理ニ關スルコト
- 十一 生徒ノ體育及衛生ニ關スルコト
- 十二 生徒ノ身體檢査及患者統計ニ關スルコト
- 十三 寄宿寮ニ關スルコト
- 十四 生徒ノ學資ニ關スルコト
- 十五 生徒ノ修學旅行及諸所參觀ニ關スルコト
- 十六 生徒ノ歸郷外泊ニ關スルコト
- 十七 卒業生ニ關スルコト
- 十八 教育研究ニ關スルコト
- 十九 評議會及教官會議ニ關スルコト
- 二十 校友會其他生徒ノ集會ニ關スルコト
- 廿一 其他一般教務ニ關スル事務

第四條 庶務課ニ庶務係及會計係ヲ置ク

- 庶務係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 御影及教育ニ關スル勅語等ノ保管ニ關スルコト
 - 二 學校長ノ官印及學校印ノ管守ニ關スルコト
 - 三 公文書類ノ接受發送及整理保管ニ關スルコト
 - 四 職員ノ進退身分及服務ニ關スルコト
 - 五 儀式ニ關スルコト
 - 六 日誌、記録、本校一覽等ノ編纂ニ關スルコト
 - 七 統計報告類ノ調製ニ關スルコト
 - 八 規則、細則、內規等ノ審査ニ關スルコト
 - 九 寄贈品、寄附願、及褒賞手續ニ關スルコト
 - 十 當直ニ關スルコト
 - 十一 參觀人ニ關スルコト
 - 十二 他課ノ所管ニ屬セサル事務
 - 十三 會計係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 歳入歳出豫算決算ニ關スルコト
 - 二 官有財産及資金ニ關スルコト
 - 三 金錢ノ受拂及保管ニ關スルコト
 - 四 物品ノ購入及其ノ出納保管ニ關スルコト
 - 五 不用物品ノ拂下ニ關スルコト
 - 六 校地、校舎ノ管理、營繕ニ關スルコト
 - 七 校内ノ警備取締ニ關スルコト
 - 八 備人ノ備罷監督ニ關スルコト
 - 九 給水、排水、暖房、瓦斯電燈、電話ニ關スルコト
 - 十 其他會計ニ屬スル一切ノ事務
- 主任ハ校長及主幹ノ命ヲ承ケ當該係ノ事務ヲ整理ス
- 第五條 他課ニ關係アル事項ハ必ス其ノ課ニ合議スベシ
- 第六條 事務ノ所屬不明ナルモノ、所管ハ其都度學校長之ヲ指定ス

八 附則

第七條 本規程ハ大正四年四月十五日ヨリ之ヲ施行ス

十五、圖書館事務規程

大正四年四月制定

- 第一條 圖書館ニ主幹ヲ置キ職員中ヨリ校長之ヲ命ス
- 第二條 主幹ハ所管事務ノ指揮監督ニ關シ校長ヲ佐クルモノトス
- 第三條 圖書館ノ所管事務左ノ如シ
 - 一 圖書印章ノ保管ニ關スルコト
 - 二 圖書ノ出納整理保管ニ關スルコト
 - 三 圖書ノ目錄編纂ニ關スルコト
 - 四 寄贈圖書ノ受入ニ關スルコト
 - 五 圖書ノ閱覽、貸借ニ關スルコト
 - 六 官報、雜誌、新聞類ノ管理ニ關スルコト
 - 七 其他圖書ニ關スル一切ノ事務

十六、寄宿寮事務規程

大正四年四月制定

- 第一條 寄宿寮ノ事務ヲ處理スル爲メ寮務係ヲ置ク
- 第二條 寮務係ニ主幹ヲ置キ生徒監中ヨリ校長之ヲ命ス
- 第三條 主幹ハ所管事務ノ指揮監督ニ關シ校長ヲ佐クルモノトス
- 第四條 寮務係ニ第一部及第二部ヲ置ク第一部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 生徒ノ訓育ニ關スルコト
 - 二 舎長、副舎長ノ任務ニ關スルコト
 - 三 寮舍内外ノ清潔整頓ニ關スルコト
 - 四 寮舍ノ警備取締ニ關スルコト
 - 五 衛生并ニ病傷者ニ關スルコト
 - 六 生徒ノ臨時外出ニ關スルコト
 - 七 生徒ノ舍室配當ニ關スルコト
 - 八 生徒ノ炊事ニ關スルコト

- 九 生徒ノ預金拂戻ニ關スルコト
- 十 生徒ノ入舍、退舍ニ關スルコト
- 十一 生徒ノ諸願届ニ關スルコト
- 十二 寮舍内居住者ノ郵便物ニ關スルコト
- 十三 寮舍參觀人ニ關スルコト
- 十四 生徒ノ面會人ニ關スルコト
- 十五 寄宿舍詰諸備人ノ監督ニ關スルコト
- 第二部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 寮舍ノ修繕ニ關スルコト
 - 二 寮舍所屬物品ノ監守及請求ニ關スルコト
 - 三 生徒ノ學資ニ關スルコト
 - 四 各舍炊事費決算ノ調査ニ關スルコト
 - 五 臨時備入ノ請求及監督ニ關スルコト
 - 六 寮舍内居住者ノ寄留届ニ關スルコト

本校規則細則類

七 生徒ノ諸願届ニ關スルコト
第五條 前條記載事項ノ外寄宿寮ニ關スル事務ニシテ寮務係ニ於テ處理スヘキモノアルトキハ校長ノ指揮ヲ承ケ寮務主幹其部屬ヲ定ム

十七、教育實習ニ關スル規程及細則

大正元年九月制定

◎教育實習ニ關スル規程

- 第一條 教育實習ハ普通教育ニ於ケル教授訓育及學校管理並幼兒保育ノ方法ヲ見聞練習シテ其要領ヲ會得セシメ且教育者タルヘキ性格ノ陶冶ニ資スルコトヲ以テ要旨トス
- 第二條 教育實習ニ従事スル生徒ヲ教生ト稱ス
- 第三條 本校教官及附屬學校教官ハ教育實習指導ニ關與シ本規程ニ規定スル事項ヲ擔任スヘシ
- 第四條 教育實習中行フヘキ事項左ノ如シ
 - 一 教授訓育及保育ノ實習

- 二 調査
 - 三 講話
 - 四 學校管理ニ關スル實習
 - 五 寮務實習
 - 六 參觀
- 第五條 教育實習期間ハ大約十一月下旬ヨリ翌年三月下旬マテトス但寮務實習ハ四月上旬ヨリ翌年三月上旬マテ之ヲ課ス
- 第六條 教授訓育及保育ノ實習ハ附屬校園ニ於テ之ヲ行ヒ附屬學校ノ關係教官及校長ノ指定スル教官之ヲ指導シ主事之ヲ管理ス其實習事項概テ左ノ如シ
- 一 教授實習 附屬學校ニ於テ實地ニ教授ヲ練習セシム
 - 二 訓育實習 附屬學校ニ於テ生徒兒童訓育上必要ナル諸般ノ事項ヲ實地ニ練習セシム
 - 三 保育實習 附屬幼稚園ニ於テ幼兒ノ保育ヲ實地ニ練習セシム
- 第七條 調査事項及指導教官左ノ如シ

- 一 教案調製 前條ノ實習ニ要スル教案類ヲ調製セシム指導教官ハ前條ノ場合ニ同シ
- 二 教科用圖書調査 女子師範學校、高等女學校及小學校ノ教科用圖書ニツキ其内容ヲ講究シ之カ撰擇排列等ヲ調査セシメ該科目關係ノ本校教官及附屬學校教官之ヲ指導ス
- 三 教授要目、教授細目等ノ立案 女子師範學校、高等女學校及小學校ノ教授要目及教授細目並幼稚園ノ保育細目ヲ調製セシムルコトアルヘシ指導教官ハ前項ニ準ス
- 四 教辨ノ工夫製作、教辨ニツキ工夫製作セシメ其結果ヲ提出セシムルコトアルヘシ指導教官ハ前項ニ準ス
- 第八條 講話ハ教授、訓育及保育上必要ナル實地問題ニツキ附屬校園ノ主事若クハ教官定時又ハ臨時ニ之ヲ行フモノトス
- 第九條 學校管理上ノ事項ニ關シテハ附屬校園ニ於ケル事務ノ見學及實習ヲ爲サシメ當該事務ニ關係アル教官之ヲ指導ス

- 第十條 寮務實習ハ附屬高等女學校寄宿寮ニ於テ之ヲ課ス
 - 第十一條 參觀ノ種類及指導教官左ノ如シ
 - 一 模範授業及保育方法參觀 定時又ハ隨時ニ附屬學校教官ノ模範授業及附屬幼稚園ニ於ケル保育ノ方法ヲ參觀セシメ模範授業又ハ保育ノ任ニ當レル教官又ハ校長ノ指定スル教官之ヲ指導ス
 - 二 他學校及幼稚園參觀 師範學校、高等女學校、小學校及幼稚園ヲ參觀セシム指導教官ハ校長之ヲ指定ス
 - 第十二條 教育實習ノ成績ハ附屬校園ニ於ケル指導教官ノ評點(白點法)及關係本校教官ノ意見ヲ參酌シテ主事之ヲ判定ス
- ◎附屬高等女學校教育實習細則 大正二年十一月改正
- 第一條 附屬高等女學校ニ於ケル教育實習ハ教育實習ニ關スル規程第一條ノ旨趣ニ基キ女子高等普通教育ニ於ケル教授、訓育及學校管理ノ方法ヲ見聞練習シテ其要領ヲ會得セシメ且教育者タルヘキ性格ノ陶冶ニ資スルコトヲ以テ要旨トス
 - 第二條 教育實習(寮務實習ヲ除ク)期間ヲ前期及後期ニ分チ教生ヲシテ各一期間ツ

教育實習ニ從事セシム其期間大約左ノ如シ
前期 自十一月下旬 至一月下旬
後期 自一月下旬 至三月下旬

第三條 教生ハ各期之ヲ數組ニ分チテ各學年ニ配當ス
教生ノ組別及其所屬學年ハ主事之ヲ定ム

第四條 教生ヲシテ教授實習ヲ爲サシムル學科目左ノ如シ
修身教育、體操、各學部教生

國語、漢文、國語漢文部教生
歷史、地理、地理歷史部教生

數學、理科(物理化學ニ關スル部分)、數物化學部教生
理科(博物ニ關スル部分)家事、博物家事部教生

習字、圖書裁縫、園藝、音樂、當該科目ヲ選修シタル教生
第五條 教授實習ヲ分チテ實習授業及共同批評授業トス
實習授業ハ學科目主任教官及該學年同學科目擔當教官之ヲ指導

シ他ノ教生ヲシテ參觀セシメ授業ノ後學科目主任教官主トナリテ批評會ヲ

開ク但學科目主任教官差支アルトキハ該學年同學科目擔當教官之ニ代ルモ

共同批評授業ハ主事ノ指定スル教生之ヲ行ヒ主事關係本校

共同批評授業ハ同學科目關係教生全體ヲシテ之ヲ參觀セシメ授業ノ後主事

主宰ノ下ニ批評會ヲ開クモノトス
第六條 生徒ノ成績物ハ教授ヲ爲セル教生ヲシテ處理セシメ指導教官ハ其處理法

ニツキテ指導監督ス
第七條 訓育實習ニ於テハ所屬學年擔任教官ノ指導ニ從ヒテ左ノ事項ヲ行フモノ

トス
一 朝會及終禮ノ立會
二 學級日誌ノ檢閲

三 生徒ノ整容遊戲教室出入物品整理食事掃除等ノ監督

- 四 遠足課外教授等ノ場合ニ於ケル生徒ノ指導監督
- 五 生徒性行觀察
- 六 生徒ノ看護及手當
- 七 其他訓育ニ關スル事項
- 第八條 教案ハ一定ノ用紙ニ認メ前以テ所屬學年學科目擔當教官ヲ經テ同學科目主任教官ニ差出サシム
- 共同批評授業ノ場合ニハ學科目主任教官ハ前項ノ教案ヲ更ニ主事ニ差出シ主事ハ之ヲ該授業指導教官及本校教務係ニ配付スルモノトス
- 第九條 教科用圖書調査ノ方法ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十條 教授要目教授細目ノ立案及教辨ノ工夫及蒐集ニ關シテハ指導教官ヨリ課題ヲ與ヘテ之ヲ爲サシム
- 第十一條 主事ハ前期及後期ノ始其他必要ニ應シ左ノ事項ニツキ講話ヲ爲スモノトス
- 一 附屬高等女學校教育ノ要旨及諸規程類

- 二 附屬高等女學校教育實習細則
- 三 其他必要ト認ムル事項
- 第十二條 學科目主任教官ハ前期及後期ノ始其他必要ニ應シ其學科目教授上必要ナル實地問題ニツキ講話シ模範授業ト相待テテ教授實習ニ資スルモノトス
- 第十三條 主事ハ必要ニ應シ學年擔任教官及所屬學年學科目擔當教官ヲシテ講話ヲ爲サシムルコトアルヘシ
- 第十四條 學年擔任教官ハ所屬教生ヲ指導シテ左ノ事務ヲ實習又ハ見學セシム
 - 一 通知簿、教育原簿等ノ記入
 - 二 成績表調製、生徒出席調查月末統計等
- 第十五條 寮務實習ハ第三學年ノ第三學期ヨリ之ヲ課シ之ヲ課スヘキ生徒及其交代方法等ハ主事、生徒監合議ノ上稟議シテ之ヲ定ム
- 第十六條 寮務實習ハ校長ノ指定スル教官之ヲ指揮シ左ノ事項ヲ實習セシム
 - 一 寮生ノ訓育
 - 二 寮生ノ養護

三 寮生ノ炊事掃除等ノ指導

四 寮舎内外ノ清潔整頓警備等ノ監督

第五六所屬寮舎ノ事務

六 全寮事務ノ補助

七 其他寮務ニ關スル事項

第十七條 模範授業ハ前期及後期ノ始其他必要ニ應シ隨時ニ學科目主任教官又ハ同學科目擔當教官之ヲ行ヒ同學科目關係教生ヲシテ參觀セシメ授業ノ後其教授ノ目的方法等ニツキ説明スルモノトス

第十八條 市内他學校ノ參觀ハ主事其日時校名及教生ヲ指定シ指導教官之ヲ引率シ歸校ノ後批評會ヲ開クモノトス

第十九條 他學校參觀ノ爲旅行ヲ行フ場合ニハ校長其期日地方及教生ヲ指定シ指導教官之ヲ引率シ參觀ヲ終リタル後批評會ヲ開キ二日以上ニ涉リタルトキハ教生ヲシテ報告書ヲ差出サシム

◎附屬小學校教育實習細則

第一條 附屬小學校ニ於ケル教育實習ハ教育實習ニ關スル規程第一條ノ旨趣ニ基キ小學校ノ教授訓育及學校管理ノ方法ヲ見聞練習シテ其要領ヲ會得セシメ且教育者タルヘキ性格ノ陶冶ニ資スルコトヲ以テ要旨トス

第二條 教育實習期間ヲ前期及後期ニ分チ教生ヲシテ各一期間ツ、教育實習ニ從事セシム其期間大約左ノ如シ

前期 自十一月下旬 至一月下旬

後期 自一月下旬 至三月下旬

第三條 教生ハ各期之ヲ分チテ十四組トシ學級特別學級ヲ除ク毎ニ其一組ヲ配當シ各期一回所屬學級ヲ變更ス

教生ノ組別及其所屬學級ハ主事之ヲ定ム

第四條 教授實習ヲ分チテ實習授業及共同批評授業ノ二トシ左ノ教科目ノ教授ヲ實習セシム

一 修身、國語、算術、日本歴史、地理、理科、體操、各學部教生ニ對シテ共通ニ之ヲ課スルヲ旨トスレトモ學部ニヨリテ多少斟酌スルコトアルヘシ

一 圖書、唱歌、裁縫、當該科目ヲ選修シタル敎生ニ限リ之ヲ課ス

一 手工、數物、化學部敎生ニ限リ之ヲ課スルコトアルヘシ

第五條 實習授業ハ主トシテ各學級主任又ハ關係分科受持之ヲ指導ス其方法左ノ如シ

一 受持時間配當 學級主任ハ前週中ニ敎生ノ受持教科目及敎授時間ヲ定メ敎務主任ヲ經テ之ヲ主事ニ差出シ又之ヲ關係敎生ニ通知スルモノトス敎生ヲ

シテ受持タシムヘキ一學級ノ敎授時數ニ關スル標準ハ主事之ヲ定ム

二 準備 指導敎官ハ其受持學級ノ管理、敎材ノ取扱及敎案調製ノ方法其他敎授上必要ナル事項ニツキ豫メ敎生ヲ指導シ前日マテニ敎案ヲ提出セシム

三 參觀及批評 指導敎官ハ學級所屬敎生ト共ニ敎生ノ授業ヲ參觀シ適當ナル時間ニ於テ學級所屬敎生全體ヲ集メテ批評ヲ爲スモノトス

四 成績物處理 兒童ノ成績物ハ敎授ヲ爲セル敎生ヲシテ處理セシメ指導敎官ハ其處理法ニツキ指導監督ス

第六條 共同批評授業ハ主事之ヲ主宰シ關係ノ本校敎官學級主任及分科受持之ヲ

指導ス其方法左ノ如シ

一 受持時間配當 敎務主任ハ受持タシムヘキ學級敎科目及敎生ヲ豫定シ主事

ニ經伺ノ上之ヲ關係學級主任分科受持及關係敎生ニ通知ス

二 共同批評授業ハ成ルヘク敎生全體ニ涉リテ之ヲ爲サシムルモノトス

準備 前條第二項ニ準シ授業ノ五日前ニ敎案ヲ調製セシメ敎務主任ヲ經テ主事及本校敎務係ニ提出セシム

三 參觀及批評 指導敎官ハ敎生全體ト共ニ指定セラレタル敎生ノ授業ヲ參觀シ後批評會ヲ開キ其批評ヲ批評簿ニ記入セシム

四 成績物處理 前條第四項ニ同シ

第七條 學級主任ハ所屬敎生ヲシテ所屬學級兒童ノ訓育及其分擔セル全校兒童ノ訓育ニ關スル諸般ノ事項ヲ實習セシムヘシ其事項概ネ左ノ如シ

一 朝會ノ立會

二 兒童管理規程ニ定ムル各條項ニツキ兒童ノ管理監督

三 課外運動及遠足ノ場合ニ於ケル兒童ノ指導監督

四 當直

五 其他訓育ニ關スル事項

第八條 第五條及第六條ニ定ムル場合ノ教案ハ所定ノ様式ニ據リテ之ヲ調製セシム其他特ニ課題トシテ教案ヲ調製セシムルコトアルヘシ

第九條 教科用圖書調査ノ方法ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 教授要目及教授細目ノ立案竝教辨ノ工夫及蒐集ニ關シテハ指導教官ヨリ課題ヲ與ヘテ之ヲ爲サシム

第十一條 主事ハ前期及後期ノ始其他必要ニ應シ左ノ事項ニツキテ講話ヲ爲スモノトス

一 附屬小學校教育ノ要旨及諸規程類

二 附屬小學校教育實習細則

三 其他必要ト認ムル事項

第十二條 主事ハ訓導ヲシテ每週若干時間講話ヲ爲サシム指定セラレタル訓導ハ豫メ其要項ヲ認メ教務主任ヲ經テ之ヲ主事ニ提出スルモノトス

講話事項概ネ左ノ如シ

- 一 各教科目教授上實地ノ手續ニ關スルコト
- 二 學年ノ程度ニ應スル教材ノ取扱ニ關スルコト
- 三 學級兒童ノ訓育ニ關スルコト
- 四 其他必要ト認ムル事項

第十三條 學校管理事務ノ見學及實習ニ關スル方法左ノ如シ

- 一 學級事務 學級主任ハ所屬教生ヲシテ其學級ニ關スル事務ヲ實習セシム
- 二 一般校務 學級主任ハ便宜其分掌スル教務、庶務、圖書、備品又ハ用度ニ關スル事務ニツキ所屬教生ヲシテ見學又ハ實習セシム其他特ニ主事ヨリ校務ノ實習ヲ命スルコトアルヘシ

第十四條 學級主任及關係分科受持ハ前期及後期ノ始若干時間及其後必要ニヨリ隨時ニ模範授業ヲ爲シ所屬教生ヲシテ參觀セシメ學級ノ取扱方、教科目ノ教授法等ニツキテ説明スルモノトス
前項ノ外主事ハ模範授業ヲ爲スヘキ學級教科目及其教授者ヲ指定シ教生全體ヲ

シテ參觀セシムルコトアルヘシ
第十五條 市内他學校ノ參觀ハ主事其日時校名及教生ヲ指定シ指導教官之ヲ引率シ歸校ノ後批評會ヲ開ク

第十六條 他學校參觀ノ爲旅行ヲ行フ場合ニハ校長其期日地方及教生ヲ指定シ指導教官之ヲ引率シ參觀ヲ終リタル後批評會ヲ開キ二日以上ニ涉リタルトキハ教生ヲシテ報告書ヲ差出サシム

第十七條 教育實習ニ關シ教務主任及教務係ノ事務左ノ如シ
一 教務主任

- (一) 教育實習全期間ノ教育實習豫定概要及教育實習週案ヲ立案シ之ヲ主事ニ提出スルコト
- (二) 前項ノ案ハ主事ノ承認ヲ得タル上各關係教官教生及本校教務係ニ之ヲ通知スルコト
- (三) 教生ノ成績判定ニ關スル材料ヲ取纏ムルコト
- (四) 其他他係ニ屬セサル教育實習上一切ノ事務

二 教務係

- (一) 教育實習ニ關スル書類ヲ保管スルコト
- (二) 教生ノ出缺席ヲ調査スルコト

◎附屬幼稚園教育實習細則

第一條 附屬幼稚園ニ於ケル教育實習ハ教育實習ニ關スル規程第一條ノ旨趣ニ基キ幼兒保育及幼稚園管理ノ方法ニツキ其大要ヲ會得セシメ且教育者タルヘキ性格ノ陶冶ニ資スルコトヲ以テ要旨トス

第二條 教育實習ハ教育實習期間中約十日間ツ、各教生ヲシテ之ニ從事セシム

第三條 教生ハ之ヲ分チテ數組トシ幼兒ノ各組ニ配當ス

第四條 保育實習ハ主事之ヲ指導シ保育ノ實際ヲ參觀セシメ且適宜所屬組ニ於テ保育ヲ實習セシム

第五條 教生ヲシテ保育案、玩具、遊戲ノ種類、談話、手技ノ材料、幼兒ノ個性等ニツキ課題ヲ與ヘテ之ヲ調査セシムルコトアルヘシ

第六條 主事ハ左ノ事項ニツキ講話ヲ爲スモノトス

一 附屬幼稚園ノ要旨及諸規程類

二 附屬幼稚園教育實習細則

三 其他必要ト認ムル事項

第七條 教生ヲシテ園務ヲ見學セシメ適宜之ヲ實習セシム

第八條 他幼稚園ノ參觀ハ學校參觀旅行中ニ於テ便宜之ヲ爲サシム

（一） 附屬幼稚園ノ要旨及諸規程類
（二） 附屬幼稚園教育實習細則
（三） 其他必要ト認ムル事項
（四） 教生ヲシテ園務ヲ見學セシメ適宜之ヲ實習セシム
（五） 他幼稚園ノ參觀ハ學校參觀旅行中ニ於テ便宜之ヲ爲サシム

◎職員

校長

二等級

從四位 勳三等

野尻精一

教授

三等級

正五位 勳四等

高橋章臣

教育、博物

三等級

從五位 勳三等

清水與三郎

化學

三等級

從五位 勳三等

野田義夫

修身、漢文、國語

三等級

從五位 勳六等

須藤求馬

教育

四等級

正六位 勳六等

眞田幸憲

教育、動物、生理及衛生

四等級

正六位

桑野久任

國語

四等級

正六位

岩城準太郎

修身、家事

四等級

正六位

錦織竹香

國語、歴史

四等級

正六位 勳六等

水木要太郎

職員

歷史	四等七級	地理歷史部主任	正六位	佐藤小吉
(外國留學中)	五等八級	文科主任	從六位	石野又吉
地理、礦物及地質	五等八級		從六位	清野信雄
教育、英語	五等八級		從六位	本庄精次
英語	五等八級	生徒監	從六位	村島理平
修身	五等八級	家事科主任	從六位	蟠川龍夫
教育	五等十級	圖書館主幹	從六位	森川正雄
歷史	五等八級	附屬幼稚園主事	從六位	田中一元
國語	五等(兼)	庶務課主幹	從六位	三井政善
數學	五等(兼)		教諭	春日今朝藏
圖書	五等十級		從六位	橫山常五郎
數學	五等九級		從六位	小野新太郎
漢文、國語	五等九級	國語漢文部主任	從六位	吉田增藏
國語	六等十級		正七位	春日政治

物理	六等十級		正七位	橫田則三
園藝	六等十級		正七位	松浦廉
地理、法制經濟	六等(兼)		教諭	西田與四郎
理科、家事	七等(兼)		教諭	石澤吉磨
裁縫	八等三級		正八位	長尾糸
動物			從七位	惠利惠
國語			從七位	豐田八十代
家事			從七位	大多和幸
圖書			從七位	大橋郁太郎
習字			四	大塚治六
音樂			四	西村甫也
助教授				

職員

音樂
體操
裁縫
體操
家事
家事
作法
作法
音樂
雜刀
教務

囑

託

(兼)

六
七
七
月三八
月三八
月三八
八
八

訓導

幾尾純
菊澤三壽
大浦こゆき
鶴本ヨネ
森以登代
堤コトモ
森山ヨネ
露木美久仁
渡邊銈
一戸伊勢
新井つた
山本兵三

一三三

物理、手工
裁縫
化學
園藝
動物生理及衛生
家事
植物

助手

助手補

書記

庶務課
庶務係主任
會計主任
物品會計官吏
不動産監守者
官報々告主任

登坂一
田村ミツエ
安達久四郎
幸田理三
西山熊夫
片山松枝
植田勇治
茂利重太郎
安木物外

職員

一三三

寮務係、教務課	八月	陸軍一等計手 勳七等	上田 鼎三
庶務課、會計係	月三三		北朴 木清司
圖書館	月二八		筒井 太熊
庶務課、會計係	月二八		山本 安太郎
教務課		陸軍砲兵曹長 勳七等	廣瀬 信太郎
庶務課、庶務係、會計係		勳八等	木岡 慎一
庶務課、會計係			松川 乙治郎
庶務課、會計係			大森 正三郎
庶務課、庶務係			北浦 一夫
校醫			杉原 榮次郎

評議員

生徒監 教務課主幹 教 授	高橋 章臣
數物化學部主任 理科主任 教 授	清水 與三郎
附屬高等女學校主事 教 授	野田 義夫
附屬實科高等女學校主事 教 授	真田 幸憲
附屬小學主事 教 授	桑野 久任
博物家事部主任 教 授	岩城 準太郎
生徒監 寮務主幹 教 授	錦織 竹香
地理歴史部主任 文科主任 教 授	水木 要太郎
生徒監 教 授	佐藤 小吉
家事科主任 圖書館主幹 教 授	村島 理平
附屬幼稚園主事 教 授	森川 龍夫
	森川 正雄

庶務課主任 教授 田中 一元
國語漢文部主任 教授 吉田 増藏

職員

◎生徒

生徒姓名 (イロハ順)

第四學年

◎國語漢文部

習字。今	習字。原	習字。本	習字。小	習字。香	音樂。谷	習字。竹	習字。中	習字。安
井	谷	多	田	川	す	尾	村	田
シ	宅	ト	八	静	ッ	チ	平	福
キ	よ	メ	重	重	子	ヨ	野	子
(高長女崎)	(高石女川)	(師奈女崎)	(本附屬女校)	(高宮女崎)	(高女垣)	(師高木)	(師和歌山)	(高神女戸)

姓名ノ上段ハ選修學科目
下段ハ出身學校
◎印ハ給費學生
◎印ハ奨勵學資ヲ受クル者

(大正十五年
九月十一日現在)

習字。石	習字。萩	習字。鳥	習字。加	裁縫。米	習字。高	習字。竹	園藝。熊	園藝。三
井	井	井	藤	澤	橋	田	谷	上
ゆ	一	マ	と	し	セ	セ	綱	エ
き	枝	キ	乃	光	ツ	銳	子	イ
(師茨)	(高神女戸)	(高八女代)	(高女垣)	(師岡)	(師高木)	(高東)	(高華)	(高新)
城	戸	代	垣	山	木	華	田	湯

◎地理歴史部

溝上 遊龜 (高女津)
島雄ふみよ (高女取)

石井 かつ (高女金)

和田 喜代美 (高女澤)

中西 玄づ (高女宮)

藤原 エイ (高女葉)

佐久間 さき (高女業)

◎數物化學部

吉浦 鎮世 (高女)

増山 ふよ (高女佐)

綾井 キク (高女洋)

三浦 谷子 (高女)

瀬谷 希志 (高女)

習字。塩澤 ムキわ (高女國)

習字。渡邊 たか (高女津)

習字。谷 照子 (高女)

習字。那須 照子 (高女)

習字。越野 豊子 (高女)

習字。白井 喜代 (高女)

習字。矢野 勝 (高女)

習字。福田 勝 (高女)

習字。桐畑 さと (高女)

習字。澁谷 シノ (高女)

◎博物家事部

糸永 キヨ (高女)

西澤 照 (高女)

岡田 タキ子 (高女)

田中 米子 (高女)

田村 宣子 (高女)

田村 宣子 (高女)

長廻 節代 (高女)

八幡 きみ (高女)

松永 ツル (高女)

坂田 敏子 (高女)

菊池 ちよ子 (高女)

圖書。林 薫 (高女)

裁縫。大場 芳江 (高女)

裁縫。吉田 いわ (高女)

裁縫。田村 加美 (高女)

圖書。筒井 加美 (高女)

裁縫。上田 チヨ (高女)

裁縫。八代 光江 (高女)

裁縫。秋山 光江 (高女)

圖書。塩原 みさ (高女)

圖書。塩原 みさ (高女)

圖書。塩原 みさ (高女)

◎文科

第三學年

生徒

小	山	坪	兼	大	豊	濱	伊	◎家事科	平	遠	山	内	片
林	縣	根	光	喜	田	藤	藤		田	藤	本	田	山
ヤ	ア	ハ	シ	多	ち	達	鶴		ヨ	幾	壽	フ	マ
ス	キ	ツ	ズ	マ	よ	子	子		シ	代	美	ミ	マ
(高本校附女)	(高山女口)	(高釜女山)	(高山女中)	(師香)	(東三高女)	(高松女山)	(山師)		(高九)	(高米)	(高山)	(高上)	(高宮)
				範川	女京	女山	範梨		女龜	女子	女陽	女川	女城

南	小	南	田	片	◎大	星	磯	杉	淺	松	栗	加
林	雲	雲	代	岡	賀	野	部	原	野	浦	原	納
シ	ハ	ハ	代	春	小	レ	や	シ	は	コ	し	
ズ	ヨ	ヨ	真	榮	喜	イ	ま	ヅ	子	エ	づ	愛
(高函)	(師三)	(高高)	(高大)	(高丸)	(高岡)	(高柏)	(高知)	(高前)	(師京)	(高丸)	(師東)	(京二高女)
女館	範重	女田	女垣	女龜	女山	女崎	女多	女橋	範都	女龜	範京	女都

◎外	伊	◎理	杉	◎三	遠	◎中	中	吉	河	沼	原	今
山	藤	科	本	船	藤	島	野	雄	村	マ	田	村
倭	津	ユ	ツ	ア	ア	み	ミ	繁	カ	モ	房	ツ
文	糸	子	ユ	イ	フ	さ	ツ	子	子	ル	子	ル
子	次	子	琴	イ	サ	を	ノ	(高長)	(高本校附女)	(高壘)	(高直)	(高)
(師和歌)	(高福)	(高梅)	(師岡)	(高姫)	(名古)	(師群)	(高界)	(高長)	(高本校附女)	(高壘)	(高直)	(高)
範山	女井	女田	範山	女路	女屋	範馬	女	女崎	女灣	女方	女岡	女岡

◎川	林	杉	坂	古	藤	長	吉	◎笠	大	藤	幡
崎	幾	山	口	武	田	崎	村	島	戸	堂	野
峰	久	敏	幸	光	チ	タ	興	ツ	玄	三	貞
子	子	子	子	香	カ	エ	子	ギ	わ	枝	子
(師福)	(高三)	(高靜)	(鹿兒島)	(高姫)	(高福)	(高福)	(高沖)	(高清水)	(高鶴)	(高粉)	(高山)
範井	女重	女岡	女鳥	女路	女井	女岡	女權	女谷	女岡	女木	女形

◎家事科	佐々木子	甲田マサ	安田ヨネ	吉田てい	渡邊美子	大久保和喜	芳賀和喜	市原コト	◎理科	鈴木於佐	三宅マサ	菊山京	相川千枝	松木益枝
	(高下女毛)	(高福女山)	(高京都市女立)	(高本校附女松)	(高水女戸)	(高酒女田)	(高八女代)			(高柏女崎)	(高丸女龜)	(高本校附女岡)	(高福女岡)	(高四日女市)

貴志ト	芥川ミ	福家シ	八原マ	梶原ナ	大久保ト	芳賀和喜	八高女代	敷田フ	水野ス	佐々木ウ	後澤玉惠	松高女本
(高門女司)	(高神女戸)	(高高女松)	(高師愛)	(高師鹿兒)	(高師香)	(高八女代)	(高八女代)	(高下女毛)	(高富女山)	(高泉女南)	(高松女本)	(高松女本)

◎文科	松原ヌ	山岸か	野村ユ	柳樂美	坪倉久	吉村カ	柿元静	渡邊み	稻葉ナ	◎文科	杉原シ	清水富美
	(高岡女岡)	(高岸女岡)	(高野村女岡)	(高柳樂女岡)	(高坪倉女岡)	(高吉村女岡)	(高柿元女岡)	(高渡邊女岡)	(高稻葉女岡)		(高白女山)	(高上女田)

第二學年

松岡千代子	山下小福	久保田民	武藏子	塚田之	田島實	上山静	河合操	大塚玄乃	毛利セ
(高東女京)	(高井女原)	(高彦女根)	(高東女京)	(高師茨)	(高京都市女立)	(高石女川)	(高京女都)	(高東女京)	(高長女岡)

本	箕	佐	松	山	塚	棚	吉	葭	兼	渡	細	原	原
吉	浦	治	本	形	本	橋	村	田	松	邊	野	田	田
	ミ					み						正	
と	サ	悦	喜	フ	乙	さ	滿	は	芳	信	モ	と	と
よ	ヲ	子	代	サ	女	を	代	る	江	代	ト	子	め
(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(師)	(高)	(高)	(第)	(高)	(高)	(高)	(高)
岡	島	和	岡	山	田	純	津	路	二	大	新	佐	姫
女	女	女	女	女	女	女	女	女	高	高	高	高	高
岡	島	和	岡	山	田	純	津	路	二	大	新	佐	姫
女	女	女	女	女	女	女	女	女	高	高	高	高	高
岡	島	和	岡	山	田	純	津	路	二	大	新	佐	姫
女	女	女	女	女	女	女	女	女	高	高	高	高	高

調	木	寺	松	永	田	吉	吉	横	河	小	西	原
	原	田	野	原	村	野	田	山	端	原	垣	田
								壽				ツ
須	露	花	す			エ	サ	々	チ	ふ		
磨	子	枝	が	初	茂	イ	ダ	惠	ユ	き	文	ル
(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(第)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)
直	廣	本	札	岡	廣	一	高	就	高	安	城	秋
方	島	校	女	山	島	高	高	高	高	高	高	高
方	島	校	女	山	島	高	高	高	高	高	高	高
方	島	校	女	山	島	高	高	高	高	高	高	高
方	島	校	女	山	島	高	高	高	高	高	高	高

◎文科 第一學年

水	青	牧	山	田	兼	門	大	二	石	伊
江	山		川	中	清	脇	上	ノ	田	吹
			フ					宮		
や	す	ミ	フ	名	ア	さ	タ	し	千	多
す	あ	エ	サ	穂	イ	だ	カ	づ	代	惠
(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)
福	福	加	高	今	岡	桑	本	上	字	順
女	女	女	女	女	女	女	校	女	部	女
井	井	佐	田	治	山	名	附	田	宮	正
井	井	佐	田	治	山	名	附	田	宮	正
井	井	佐	田	治	山	名	附	田	宮	正
井	井	佐	田	治	山	名	附	田	宮	正

廣	三	増	山	室	上	金	岡	戸	石	石
田	輪	田	田	賀	島	子	本	田	田	橋
						富				
カ	忍	ケ		よ	幸	美	キ		ふ	ふ
ッ	つ	イ	鈴	し	子	子	ミ	榮	赤	ヒ
(高)	(高)	(師)	(師)	(師)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)
丸	河	長	茨	群	松	高	市	高	三	河
龜	北	崎	城	馬	木	田	岡	松	重	北
龜	北	崎	城	馬	木	田	岡	松	重	北
龜	北	崎	城	馬	木	田	岡	松	重	北
龜	北	崎	城	馬	木	田	岡	松	重	北

森	平	下	柴	齋	栗	藤	間	山	栗	宇	中	中	丹
	尾	田	田	藤	田	川	瀬	村	田	川	山	村	野
く	喜	ト	代	貞	カ	綾	と	澤	千	や	安	は	コ
わ	美	ク	子	子	ル	子	に	子	代	う	野	さ	ト
(師)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(師)	(高)	(高)	(高)	(第)	(高)	(高)	(高)
範	丸	盛	天	秋	門	奈	山	城	直	京	加	高	山
岡	龜	岡	田	田	司	真	陽	崎	方	都	佐	井	形

菅	餅	廣	柴	桐	麻	藤	前	山	楠	上	永	中	添
谷	谷	内	田	原		生	田	崎	本	本	見		田
真	つ		た	シ	よ	げ	絹	朝	ノ	ミ	タ		
砂	ぎ	敏	津	け	ナ	し	ゑ	江	信	子	ブ	チ	ヨ
(師)	(第)	(第)	(高)	(師)	(高)	(高)	(第)	(高)	(高)	(高)	(第)	(高)	(高)
範	石	京	東	茨	梅	足	愛	高	高	親	濱	鹿	松
木	川	都	金	城	田	利	知	松	保	和	田	兒	山

高	吉	馬	岩	◎	光	三	交	向	高	米	大	波	◎
平	弘	場	井	家	江	谷	川	井	見	増	澤	多	理
タ	ミ	ミ	ツ	事	芳	シ	リ	花	美	壽	イ	野	科
ケ	チ	エ	薫	科	子	マ	ン	子	代	賀	ト	ア	科
(高)	(高)	(高)	(高)		(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(師)	
旭	新	佐	梅		高	丸	河	精	神	島	盛	奈	
川	高	女	女		知	龜	北	思	戸	取	岡	川	

田	高	十	巖	森	三	荒	植	中	吉	河	大	
中	尾	時	本	谷	橋	川	村	鶴	久	内	高	
喜	喜		興	八	ミ	セ		サ	マ	セ	み	
美			志	千	ヨ	イ	光	エ	サ	ツ	絲	
代	代	綱	志	代	ヨ	イ	光	エ	サ	ツ	絲	
(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	(高)	
神	本	柳	山	丸	弘	平	夕	本	中	山	桑	
戸	校	河	口	龜	前	戸	陽	校	津	中	名	

學科	學年	最高	最低	平均
國語漢文部	第四學年	二五、〇	二〇、四	二二、一
地理歴史部	第四學年	二三、二	二〇、四	二一、三
數物化學部	第四學年	二三、一〇	二〇、五	二一、一〇
博物家事部	第四學年	二四、一	二〇、三	二二、一
研究科	第二學年	二二、一一	二二、一一	二二、一一

一五〇

◎卒業者

第一回卒業

(大正二年三月)

◎國語漢文部

- 三重縣桑名郡立高等女學校教諭 △岩 瀬 茂 登 (裁縫)
- 鳥根縣女子師範學校教諭 △細 田 ヒロ (裁縫)
- 朝鮮京城女子高等普通學校教諭 △都 竹 さと (園藝)
- 東京府私立淑徳高等女學校教員 中 島 カズ (習字)
- 岡山縣真庭郡勝山町立勝山實科高等女學校教諭 △信 原 隆 (圖書)
- 山形縣立鶴岡高等女學校教諭 △大 野 久 久 (園藝)
- 東京府私立東洋高等女學校教員 △坂 本 茂 (園藝)
- 京都市立高等女學校教諭 △鹽 見 タキ (習字)
- 鹿兒島縣女子師範學校教諭兼鹿兒島縣立第二高等女學校教諭 △今 里 エタ (音樂)
- 滋賀縣立彦根高等女學校教諭 △景 山 康 子 (習字)
- 愛媛縣立松山高等女學校教諭 △中 村 コヲコ (裁縫)
- 奈良女子高等師範學校助教諭 △野 村 とし (園藝)
- 大阪府私立金蘭會高等女學校教員 △山 田 △島 逸 (習字)
- 奈良女子高等師範學校 訓導 △後 藤 ひろ (裁縫)
- 廣島縣私立山中高等女學校教員 △志 田 ハツネ (習字)
- 福岡縣立直方高等女學校教諭兼舍監 △杉 村 春 野 (習字)

○印ハ甲種學費受給者
△印ハ乙種學費受給者
×印ハ結婚者
ハ内ハ選修科目名

◎地理歴史部

卒業者

一五一

北海道釧路立札幌高等女學校教諭 △市川 たま (園藝)
 福岡縣浮羽郡立浮羽高等女學校 教諭 △石井 スミ (裁縫)
 長野縣松本女子師範學校教諭兼 會監 △多田 あや (園藝)
 滋賀縣大津市立大津實 科高等女學校教諭 「栗原」 △石垣 つる (裁縫)
 奈良女子高等師範學校助教諭 △秋草 チカ (園藝)
 大阪府立泉南高等女學校教諭 △本村 ユキヨ (裁縫)

◎數物化學部

大阪府私立相愛高等女學校教員 服部 すゝ (園藝)
 熊本縣球磨郡立實科女學校教諭 △大村 ミツ
 兵庫縣神戸市立高等女學校教諭 吉岡 美津
 奈良女子高等師範學校 「田丸」 △二村 ミネ (園藝)
 兵庫縣多紀郡立高等女學校教諭 兼同縣同郡立實科高等女學校教諭 △長井 あい
 「安西」 △千葉 ミキ (裁縫)
 青森縣立弘前高等女學校教諭 △菊池 ソノ (園藝)

△市川 まきは (裁縫)
 「原谷」 △鈴木 きよ (音樂)
 「竹村」 △三原 モト (園藝)
 兵庫縣揖保郡立實科高等女學校 教諭兼會監 △近藤 ひで (園藝)
 東京府私立九段精華高等女學校 教員 △清水 むす (園藝)

兵庫縣私立親和高等女學校教員 △華岡 綾子 (園藝)
 福岡縣三池郡立高等女學校教諭 △河東 アイ
 山口縣下關市立下關高等女學校 教諭 △田中 ムネノ (音樂)
 福岡縣立直方高等女學校教諭兼 會監 △武吉 ムツ (園藝)
 大阪府立堺高等女學校教諭 中山 茂世 (裁縫)
 和歌山縣新宮町立高等 女學校教諭 「木村」 △花房 スエ (園藝)
 奈良女子高等師範學校訓導 △宮本 安 (園藝)

◎博物家事部

京都府興南郡立高等女學校教諭 △廣部 まう (園藝)
 福井縣武生町立實科高等女學校 教諭 △岩崎 文江 (園藝)
 山形縣立山形高等女學校教諭兼 山形縣女子師範學校教諭 △新開 マツ (裁縫)
 山口縣阿武郡立實科高等女學校 教諭 △沼田 恒 (園藝)
 「横山」 △小石 菊枝 (園藝)
 朝鮮釜山公立高等女學 校教諭 「吉田」 △林 絹 (音樂)
 埼玉縣女子師範學校教諭兼會監 岡山縣上道郡西大寺町立高等女 學校教諭 △中原 菊枝 (裁縫)
 「江本」 △三戸 セツ (園藝)
 奈良女子高等師範學校助教授 △森 以登代 (園藝)
 岡山縣女子師範學校教諭 △茂木 みき (園藝)

大阪府立泉南高等女學校教諭 △井上 マサエ (園藝)
 愛知縣立第一高等女學校教諭 △保科 正 (園藝)
 △金子 せいのゑ
 「吉井」 △小原 せい (園藝)
 三重縣四日市市立高等女學校教 諭 △田上 ヤスコ (園藝)
 奈良女子高等師範學校助教授 △堤 コトモ (園藝)
 福島縣立會津高等女學校教諭 △小林 きゑ (園藝)
 德島縣板野郡立實科高等女學校 教諭 △佐々木 ミサホ (園藝)
 奈良女子高等師範學校助教授 △森山 ヨ子 (習字)

第二回卒業 (大正三年三月)

◎國語漢文部

奈良女子高等師範學校保姆 △西宮アヤ(圖畫)
 愛媛縣立字和島高等女學校教諭 △友松總代(裁縫)
 京都府船井郡立高等女學校教諭 △奥村セメ
 島根縣立濱田高等女學校教諭 △加舎千代野(習字)
 福岡縣遠賀郡八幡町立實科高等女學校教諭 △田宮ニシ(裁縫)
 奈良女子高等師範學校助教 △露木美久仁(圖畫)
 島根縣立松江高等女學校教諭兼 △山本花(習字)
 秋田縣立秋田高等女學校教諭兼 △福田シツエ(習字)
 福岡縣立直方高等女學校教諭 △是久ミサヲ(習字)
 大阪府立清水谷高等女學校教諭 △赤羽吉子(習字)
 愛媛縣宇摩郡三島町外岡村學校 △荒井マツエ(裁縫)
 組合立宇摩實科高等女學校教諭
 岡山縣立岡山高等女學校教諭 ×△西牧ユキヨ(圖畫)
 三重縣飯南郡立實科高等女學校教諭 △岡よし(裁縫)
 奈良女子高等師範學校助教 △奥山えげ(習字)
 佐賀縣唐津町立唐津高等女學校教諭 △田中文(習字)
 大阪府立清水谷高等女學校教諭 ×△田代愛(音樂)
 滋賀縣長濱町立實科高等女學校教諭 △山本晴(裁縫)
 栃木縣那須郡立實科高等女學校教諭 △松本なを(習字)
 奈良女子高等師範學校助教 △後藤キミエ(裁縫)
 滋賀縣立彦根高等女學校教諭 △寺島きくの(圖畫)
 富山縣師範學校教諭兼 △荒井八重(音樂)
 長野縣松本女子師範學校教諭兼 △佐藤千代の(裁縫)
 舍監

兵庫縣立姫路高等女學校教諭 佐久間松枝(習字)
 富山縣高岡市立實科高等女學校教諭 ×久野春榮(裁縫)

◎地理歴史部

長野縣立長野高等女學校教諭 △市川初二(圖畫)
 和歌山縣立和歌山高等女學校教諭 華岡文子(音樂)
 北海道函館區私立道愛 北海女子師範學校教諭兼 △杉村フミ(習字)
 福島縣立磐城高等女學校教諭 仲野またた(圖畫)
 香川縣木田郡立木田實科高等女學校教諭 安江空玄(裁縫)
 熊本縣立高等女學校教諭 △秋山つあ(圖畫)
 岐阜縣女子師範學校教諭兼舍監 △平出さき(裁縫)

◎數物化學部

岡山縣淺口郡鴨方村立觀生實科高等女學校教諭 △石川ヲハマ
 「小原」×△澤田キヨ(圖畫)

佐賀縣私立成美高等女學校教員 △水智トマ(習字)
 大阪府立梅田高等女學校教諭 河野ハル(習字)
 (七月卒業)

兵庫縣加古郡立高等女學校教諭 ×石川きさ
 死亡
 奈良縣生駒郡山町立實科高等女學校教諭 △鰐部美尾(圖畫)
 奈良女子師範學校教諭兼舍監 ×△田村千世(習字)
 村田ゆき(裁縫)
 「福永」×△大中道さ(圖畫)
 山口縣玖珂郡立柳井高等女學校教諭 △菊地イツ
 朝鮮慶尙南道馬山實科高等女學校教諭 △樋口リン(裁縫)

福岡縣浮羽郡立浮羽高等女學校教諭 △西村ナルコ(圖畫)
 愛媛縣立今治高等女學校教諭兼 △大關ふく(圖畫)
 舍監

千葉縣東金町東金尋常「岡本」×片田 隆 ね(園藝)
 高等小學校教員
 大阪府北河内郡立河北高等女學校教諭
 草地まげの(園藝)
 香川縣立丸龜高等女學校教諭
 △安田 すゑ(裁縫)
 大阪府立梅田高等女學校教諭
 △阪本 まま(裁縫)
 北海道函館區私立蓮愛女學校教員
 △白土 よね

◎博物家事部

和歌山縣立和歌山高等女學校教諭
 ×新居 トミ(園藝)
 鳥取縣立米子高等女學校教諭
 △神田 イ子(園藝)
 奈良女子高等師範學校助教諭
 △植田 タマヨ(裁縫)
 栃木縣足利郡立足利高等女學校教諭兼舍監
 △山田 キク(園藝)
 奈良女子高等師範學校助教諭
 △久田 ヨシ(園藝)
 大阪府立夕陽丘高等女學校教諭
 △駒井 モト(園藝)
 山口縣佐波郡立高等女學校教諭
 △藤富 タカコ
 大阪府女子師範學校教諭「菅沼」×原谷 喜美子(音樂)
 兼舍監

大阪府立泉南高等女學校教諭
 △川岸 宇 乃
 佐賀縣藤津郡立鹿島高等女學校教諭兼舍監
 △山本 サヲ(裁縫)
 沖繩縣立高等女學校「新嘉喜」×許田 操(裁縫)
 熊本縣私立尚綱高等女學校教員
 △湯淺 レツ
 朝鮮平壤女子高等普通學校教諭
 △菅井 きよじ(園藝)

富山縣師範學校教諭兼舍監
 △渡邊 りょう(裁縫)
 愛知縣南設樂郡新城町立實科高等女學校教諭
 △田島 みお(園藝)
 岡山縣西大寺町立高等女學校教諭兼舍監
 倉橋 楓(園藝)
 三重縣立高等女學校教諭
 △松崎 ミキ(園藝)
 香川縣香川郡立香川實業學校教諭兼舍監
 △藤木 ヒデ(園藝)
 新潟縣岩船郡立村上實科高等女學校教諭
 △酒井 喜久(園藝)
 茨城縣立土浦高等女學校「森澤」×有光 小靜(裁縫)
 岡山縣私立清心高等女學校教員
 △佐伯 トモエ(園藝)
 (七月卒業)

第三回卒業

(大正四年三月)

◎國語漢文部

愛知縣丹羽郡大山町學校組合立
 犬山實科高等女學校教諭
 △石水 てつ
 鹿兒島縣女子師範學校教諭兼舍監
 ○大賀 琴野(園藝)
 兵庫縣津名郡三原郡組合立淡路高等女學校教諭兼同組合立淡路實科高等女學校教諭兼舍監
 △河野 榮(習字)
 福岡縣立小倉高等女學校教諭兼舍監
 △河本 玄太(習字)
 石川縣能美郡立實科高等女學校教諭
 △吉原 キヨコ(裁縫)
 滋賀縣甲賀郡寺庄村外三箇村學校組合立寺庄實科高等女學校教諭
 △高橋 哲(習字)
 北海道釧路區立函館高等女學校教諭兼舍監
 △柳橋 たつ(裁縫)
 島根縣立松江高等女學校教諭兼舍監
 玉井 種子(園藝)
 島根縣鹿足郡立高等女學校教諭
 △多胡 シュン(習字)
 京都府私立同志社女學校教員
 長崎 光(園藝)
 京都府天田郡立高等女學校教諭兼舍監「佐藤」×山口 旭(園藝)

福島縣安積郡立安積高等女學校教諭
 △林 エイ(音樂)
 兵庫縣私立親和高等女學校教員
 △大野 玄淳子(園藝)
 奈良女子高等師範學校助教諭
 △河越 淑(習字)
 岡山縣矢掛町立實科高等女學校教諭
 △加村 きよゑ(習字)
 奈良縣立櫻井高等女學校教諭
 吉川 ヒサ(園藝)
 福岡縣立久留米高等女學校教諭
 △高橋 シヅ(園藝)
 岡山縣私立清心高等女學校教員
 △田中 靜子(習字)
 三重縣立高等女學校教諭
 △竹島 じよ(習字)
 福岡縣立柳河高等女學校教諭
 △津田 ウラ(園藝)
 岡山縣西大寺町立高等女學校教諭
 △真柄 ミサオ(裁縫)
 和歌山縣立田邊高等女學校教諭
 △佐脇 千代(音樂)

眞山 ゆき (習字)

北村 園子 (圖書)

水谷 とみを (裁縫)

廣江 フミノ (習字)

◎地理歴史部

千葉縣女子師範學校教諭 △伊東 ツカ (習字)

富山縣立富山高等女學校教諭 小栗 さね (裁縫)

京都府與謝郡立高等女學校教諭 △土屋 ミヤ (裁縫)

佐賀縣武雄町外六ヶ村學校組合立武雄實科高等女學校教諭兼舍監 △中島 ハナ (圖書)

京都府立第二高等女學校教諭 △九鬼 つる (裁縫)

末弘 杉枝 (音樂) (七月卒業)

◎數物化學部

大阪府私立梅花高等女學校教諭 △伊藤 キヲ (圖書)

富山縣氷見郡立氷見實科高等女學校教諭 △加藤 テイ (裁縫)

高知縣立高等女學校教諭 △三宮千鶴江 (圖書)

三重縣女子師範學校教諭 三宅 吉子 (裁縫)

京都府私立華頂實科高等女學校教諭 △神保 テツ (裁縫)

和歌山縣立和歌山高等女學校教諭 赤城 おひな (裁縫)

死亡 △太田 道子 (裁縫)

香川縣立九龜高等女學校教諭 △田中 マスエ

福島縣立會津高等女學校教諭 △中村 サト (圖書)

兵庫縣尼崎市立實科高等女學校教諭 △内田 く (圖書)

高知縣立高等女學校教諭 △白瀬 ふみこ (音樂)

佐賀縣東松浦郡唐津町立唐津高等女學校教諭 馬場 ヒトエ (圖書)

奈良女子高等師範學校研究科在學 △永井 ヤス (圖書)

青島高等女學校教諭 △中村 元子 (裁縫)

愛媛縣新居郡立高等女學校教諭 △麻 七キ (圖書)

北海道釧路小樽高等女學校教諭 △島 キヤウ (圖書)

岡山縣西大寺町立高等女學校教諭 △鈴木 せし (裁縫)

◎博物家事部

兵庫縣赤穂郡立實科女學校教諭 ×井 上 範 (圖書)

廣島縣立福山高等女學校教諭 △渡 邊 ちせ

鹿兒島縣始良郡立實科高等女學校教諭 △高 貫 フミ

滋賀縣坂田郡長濱町立長濱實科高等女學校教諭 △田代 七キ (圖書)

大分縣日田郡立實科高等女學校教諭 △牧野 みつ

宮里 △浦 添 澄 (裁縫)

宮城縣女子師範學校教諭 △篠原 なを (圖書)

埼玉縣北葛飾郡幸手尋常高等小學校訓導 △石塚 みさを (圖書) (七月卒業)

滋賀縣坂田郡長濱町立長濱實科高等女學校教諭 △沼波 信 (裁縫)

宮崎縣兒湯郡高鍋町立高鍋實科高等女學校教諭 △三橋 ふみ (圖書)

大阪府女子師範學校教諭 △諏訪 弘 (裁縫)

靜岡縣女子師範學校教諭兼舍監 △西村 エキ (裁縫)

大阪府大阪市南區育英女子高等小學校訓導 ×吉松 千代 (圖書)

三重縣宇治山田市立高等女學校教諭 △玉垣 としを (裁縫)

北海道函館區私立遠愛女學校教員 △松野 マツエ (圖書)

長野縣立松本高等女學校教諭 △甲田 節 (圖書)

和歌山縣伊都郡橋本町立高等女學校教諭兼舍監 △三井 ウタ (圖書)

神奈川縣立高等女學校教諭 △志田 よし (圖書)

大阪府大阪市立北區實科女學校訓導 諸井 はつ (圖書)

卒業生

第四回卒業

(大正五年三月)

◎國語漢文部

- 鹿兒島縣始良郡立實科高等女學校教諭 △伊藤 つぎ (習字)
- 大阪市南區青美女子高 [井内] △西居 りん (習字)
- 等小學校訓導
- 高知縣立高等女學校教諭 △西山 薫 (習字)
- 奈良女子高等師範學校助教諭 △大原 キミノ (習字)
- 靜岡縣入江町外四箇町村立巴實科高等女學校教諭 △太田 てる (習字)
- 佐賀縣藤津郡立鹿島高等女學校教諭 △谷 タヘ (圖書)
- 京都府私立平安高等女學校教員 △立澤 ハツセ (音樂)
- 德島縣私立四條實科高等女學校教員 △中島 節子 (習字)
- 愛媛縣立今治高等女學校教諭 △浦野 ツネ (裁縫)
- 廣島縣立廣島高等女學校教諭 △野田 登女 (習字)
- 東京府私立東京高等女學校教員 △藤澤 くじ (習字)
- 愛知縣私立愛知淑徳高等女學校教員 △稻垣 チヨ (習字)
- 東京府南葛飾郡立實科高等女學校教諭 △林 るん (習字)
- 愛媛縣女子師範學校教諭 △徳久 ヨ子 (習字)
- 鹿兒島縣始良郡加治木町立加治木實科高等女學校教諭 △大脇 ヨシ (裁縫)
- 奈良女子高等師範學校助手 △和田 ミキエ
- 京都府私立淑女高等女學校教員 △多田 せい (習字)
- 京都府何鹿郡綾部町郡是製絲株式會社教育員 △中野 ミツエ (習字)
- 岡山縣玉島町立實科高等女學校教諭 △宇田川 松代 (音樂)
- 香川縣立高松高等女學校教諭 ○植松 ノヲ (習字)
- 福岡縣女子師範學校教諭 △松本 皐月 (圖書)
- 奈良縣宇智郡五條町立五條高等女學校教諭 △古池 さく (音樂)

廣島縣吳市立高等女學校教諭 △小松原 清 (圖書)

三重縣四日市市立高等女學校教諭 青木 キヌヨ (圖書)

富山縣中新川郡滑川町立滑川實科高等女學校教諭 △庄川 キミ (圖書)

茨城縣女子師範學校教諭 △森戸 うめ (圖書)

福岡縣三池郡立三池高等女學校教諭 △關根 せつ (習字)

大阪市東區集英小學校訓導 杉谷 茂子 (習字)

◎地理歴史部

△桑原 多美 (七月卒業)

京都府南桑田郡立高等女學校教諭 △畑田 緑 (習字)

京都府加佐郡立高等女學校教諭 △楡井 八重

三重縣宇治山田市立高等女學校教諭 △大橋 つる (圖書)

愛知縣津島町立高等女學校教諭 △大窪 慶 (圖書)

福岡縣立福岡高等女學校教諭 △岡本 慎 (習字)

京都府私立平安高等女學校教員 尾崎 登美 (習字)

大阪府立夕陽丘高等女學校教諭 △渡邊 繁野 (圖書)

石川縣能美郡立實科高等女學校教諭 △米窪 歌子 (圖書)

福井縣武生町立實科高等女學校教諭 △國井 勝子 (裁縫)

德島縣板野郡立實科高等女學校教諭 △澤田 ノエ (裁縫)

◎數物化學部

栃木縣足利郡立高等女學校教諭 △今淵 正武

福井縣立福井高等女學校教諭 神谷 周子 (圖書)

宮崎縣立高等女學校教諭 △神坂 滋乃 (圖書)

奈良女子高等師範學校助手 △田村 ミツエ (裁縫)

石川縣能美郡立實科高等女學校教諭 △中村 美壽能 (音樂)

愛媛縣立今治高等女學校教諭 △内山 チヨ (習字)

愛媛縣女子師範學校教諭 倉並定枝 (裁縫)

山口縣郡邊郡立郡邊高等女學校教諭 △兒玉ヲク (圖書)

熊本縣限府町外十一立菊池實科高等女學校教諭 △謝花節 (裁縫)

熊本縣南村組合立菊池實科高等女學校教諭 横井千代 (裁縫) (七月卒業)

◎博物家事部

長野縣立飯田高等女學校教諭 △市田キヨ (裁縫)

鹿兒島縣始良郡立實科高等女學校教諭 △飯尾純子 (圖書)

大阪府立清水谷高等女學校教諭 △神澤松野 (圖書)

靜岡縣私立駿東高等女學校教員 但馬タミ (圖書)

宮城縣石巻町立石巻實科高等女學校教諭 △村上つき (裁縫)

福岡縣三池郡立三池高等女學校教諭 △山本勝 (音樂)

群馬縣立高崎高等女學校教諭 △木谷よし (裁縫)

富山縣富山市立富山實科高等女學校教諭 △宮腰久尾 (圖書)

滋賀縣女子師範學校教諭兼滋賀縣立大津高等女學校教諭 入倉ツル (習字)

兵庫縣多紀郡立實科高等女學校教諭兼今郡立高等女學校教諭 △籾木ミツギ (圖書)

京都府船井郡立高等女學校教諭 玉井輝子 (圖書)

大分縣北海郡白杵町立白杵實科高等女學校教諭 △直良音 (圖書)

岡山縣笠岡町立實科高等女學校教諭 △山科鉄枝 (音樂)

福岡縣大野郡立實科高等女學校教諭 藤井玄づ (圖書)

千葉縣立千葉高等女學校教諭 △喜勢る (裁縫)

大阪府立市岡高等女學校教諭 ×下村わさ (裁縫)

岐阜縣立大垣高等女學校教諭 △八木小五花 (圖書)

奈良女子高等師範學校助教諭 △三野マスエ

熊本縣鹿本郡町組合立山鹿實科高等女學校教諭 △平田ユキ (裁縫)

本科卒業生人員調

種別	國語漢文部		地理歴史部		數物化學部		博物家事部		合計
	習字	選修	習字	選修	習字	選修	習字	選修	
第一回	七	二	一	一	一	一	一	一	七
第二回	二	二	一	一	一	一	一	一	八
第三回	一	一	一	一	一	一	一	一	六
第四回	一	一	一	一	一	一	一	一	六
累計	四三	九二	四	四	四	四	四	四	一七〇
就職	九	七	三	三	四	四	五	六	二八
退職	一	一	一	一	一	一	一	一	九
就職未定	四	一	一	一	一	一	一	一	一七

卒業生ノ卒業後ニ於ケル狀況

(大正五年九月一日調)

卒業生

種別	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
本校建物	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
附屬高等女學校建物	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
附屬(實科高等女學校)建物	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
附屬幼稚園建物	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
◎主要建物	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
本館	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
第一號館	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
第二號館	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
第三號館	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
第五號館	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
第六號館	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
音樂教室	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
體操教室	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
附屬室	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考

種別	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
本校建物	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
附屬高等女學校建物	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
附屬(實科高等女學校)建物	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
附屬幼稚園建物	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
◎主要建物	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
本館	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
第一號館	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
第二號館	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
第三號館	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
第五號館	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
第六號館	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
音樂教室	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
體操教室	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
附屬室	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考

經費及設備

一六七

一六六

二、敷地建物

備考 大正五年度ハ豫算額其他ハ決算額ナリ

年度	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
明治四十二年	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
明治四十三年	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
明治四十四年	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
明治四十五年	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
大正二年	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
大正三年	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
大正四年	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考
大正五年	敷地	坪數	建築費	竣工年月日	備考

經費及設備

部局名	數量	價格	器具		學術用機械		標本		和圖		洋書		計
			數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	
庶務係	六六六	二,五〇二四											六六六
教務課	五〇六	二,八四五四											五〇六
附屬附屬			寄宿寮	平木屋建造	九	四三五四七	一六八九二	二八六	同	同	同	同	
附屬附屬			本館	二階建造	一	三三九五〇	二八八五七	五〇〇	同	同	同	同	
附屬附屬			兼體操教室	平木屋建造	一	七三〇〇	四一八六〇	〇〇〇	同	同	同	同	
附屬附屬			理科教室	平木屋建造	一	三八〇〇	二四二五〇	〇〇〇	同	同	同	同	
附屬附屬			小使溜所	平木屋建造	一	五二五	二六二五〇	〇〇〇	同	同	同	同	
附屬附屬			本館	平木屋建造	一	九〇〇〇	三九六〇〇	〇〇〇	同	同	同	同	
附屬附屬			保育室	平木屋建造	一	一〇九〇〇	四七六六〇	〇〇〇	同	同	同	同	
附屬附屬			幼兒室	平木屋建造	一	四〇〇〇	一五二〇〇	〇〇〇	同	同	同	同	
附屬附屬			人控室	平木屋建造	一	四〇〇〇	一五二〇〇	〇〇〇	同	同	同	同	
附屬附屬			小使溜所	平木屋建造	一	二〇〇〇	八〇〇〇〇	〇〇〇	同	同	同	同	

三、備品數量價格部局別調

(大正五年一月一日現在)

附屬高等女學校		校												
名稱	種類	棟數	坪數	建築費	竣工年月日	備考	寄宿寮	倉庫	小使溜所	圖書閱覽室	作法教室	發電池室	手工室	溫室
寄宿寮	平木屋建造	一	四三五四七	一六八九二	二八六	同	二階建造	三階瓦建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平煉瓦建造
兼體操教室	平木屋建造	一	七三〇〇	四一八六〇	〇〇〇	同	平木屋建造	三階瓦建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平煉瓦建造
理科教室	平木屋建造	一	三八〇〇	二四二五〇	〇〇〇	同	平木屋建造	三階瓦建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平煉瓦建造
小使溜所	平木屋建造	一	五二五	二六二五〇	〇〇〇	同	平木屋建造	三階瓦建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平煉瓦建造
本館	二階建造	一	三三九五〇	二八八五七	五〇〇	同	平木屋建造	三階瓦建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平煉瓦建造
職員室	平木屋建造	一	六五〇〇	三三七七〇	〇〇〇	同	平木屋建造	三階瓦建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平煉瓦建造
兼體操教室	平木屋建造	一	七〇〇〇	四一八六〇	〇〇〇	同	平木屋建造	三階瓦建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平煉瓦建造
音樂練習室及音樂教室	平木屋建造	二	三二五〇	一三,九六〇	〇〇〇	同	平木屋建造	三階瓦建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平煉瓦建造
小使溜所	平木屋建造	一	六〇〇	八,八六一〇	〇〇〇	同	平木屋建造	三階瓦建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平木屋建造	平煉瓦建造

部局名	器具		學術用機械		標本		圖書		計
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	
會計係	二六八	八,五〇六	六	一四二七			三,三〇三		二,六六六
圖書館	三六一	一,七三六	一	二八〇			三,三〇三	三,三〇三	二,七〇九
寄宿寮	五,〇一四	七,〇五五							七,〇五五
作法教室	三	一,〇〇〇			三六	四三〇			四二六
教育教室	二五	一,七三六			一三	一,三〇〇			一,〇八九
歷史教室	八四	七,八八三			四七九	一,七三〇			二,四八〇
地理教室	八四	五,三九六			四四五	七,九五四			二,一四九
數學教室	七	四,一九〇			一一	一,六九六			一,〇五
物理教室	一〇八	一,四六五			二九	四三〇			一,九一五
化學教室	一〇三	一,三六二			三九	三,〇七七			四,八三三
手工教室	二	一八七			四	二四〇			一,一七三
植物教室	一五〇	一,四九七			二八	一,〇〇〇			四,三三六
動物教室	一五	一,八四三			六八	三,九九三			九,四六一
礦物地質教室	一七	四,三三〇			一七	一,五七三			二,九〇三

一七〇

部局名	器具		學術用機械		標本		圖書		計
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	
家事教室	一〇〇	七,五二五			一四六	五,〇九二			一二,六一三
圖書教室	七	三,八二六			八九	二,〇一四			五,八四〇
音樂教室	三	七,五五							七,五五
裁縫教室	一〇四	六,六〇九			四〇五	三,八二〇			一〇,四二九
園藝教室	九	二,九九六			七	八四七			三,八四三
體操教室	七	一,〇二八							一,〇二八
雜刀教室									
習字教室	七	一,五五〇			二	二八六			一,八三六
理科共同標本室	八	五,一〇〇			二	二七九			五,三七九
附屬高等女學校	二,七九九	六,四三三			八五	一,四九〇			七,九二三
附屬小學校	一,九九九	六,一〇四			二六	三,三三三			九,四三七
附屬幼稚園	五七	一,五九二			九八	二,〇四七			三,六三九
總計	二五,九〇四	四六,八〇八	三,六九七	四七,二四九	四,八八	一三,八〇六	二,八三三	一六,六四三	一〇六,五〇八

經費及設備

一七一

四、圖書類別表

(大正五年一月一日現在)

類別	和		洋	
	冊數	價	冊數	價
第一門 社會	四五二	三〇四九八〇	五〇	一、二六七〇〇
第二門 家庭	三五三	一、五五四八〇	四七	一、一七二〇〇
第三門 教育	四四八	三、五七七六〇	四二二	一〇、六五二九〇
第四門 哲學	二、四八五	七〇八八一〇	二二一	六、七二九三〇
第五門 宗教	七六二	三、八九九五〇	一四	三、一九〇〇〇
第六門 文學	三、六二五	一、五、六四七三〇	三九七	五〇、九七一〇
第七門 語學	二九九	一、四七、八六〇	九〇	一、四、六五〇〇
第八門 地理	六五九	四、四〇、八九〇	一三一	六、三八〇〇〇
第九門 歷史	三、七二四	一、七、三三、五〇〇	二〇〇	五、七三、四〇〇
第十門 工學	二五五	三、一四、五九〇	三八九	一、六五、七〇〇
第十一門 博物	五八四	九、七六、五五〇	四一七	二、六五、六〇八〇

第十二門 美術	二、三九六	一、四、二五、七四〇	三〇九	六、七、八、六六〇
第十三門 經濟	五〇四	四、四一、五五〇	二八	一〇、五、八〇〇
第十四門 產業	二四二	二、三三、六九〇	一〇四	三、九一、五三〇
第十五門 叢書	三、四七五	二、三、二七、六二〇	一七五	一、一、四一、八四〇
第十六門 記錄	二	四、〇〇〇		
第十七門 雜書	四五六	六、四四、九九〇	二七一	二、二、五九、九三〇
第十八門 教科書	一、五二七	四、一六、九九〇	七一	二、四、三、九〇
特別圖書	一一二	八、四一〇		
大禮記念文庫	六三	八、五、四〇〇		
附屬高等女學校	四、〇五八	二、七、三、七一、六〇	一六四	二、二、八、八六〇
附屬小學校	二、四七四	一、〇、七、六、六八〇	四	六、三、五〇
計	二八、八三五	一、六、四、九、七、三三〇	三、四、九、四	一、三、〇、四、二、〇八〇
和漢書合計		三、二、三、三、九		二、九、五、三、九、四一〇

附屬高等女學校

五、藏書統計表

(大正五年一月一日現在)

種別	計	買入		附寄		保管轉換		計	價	格
		買入	寄	附寄	保管轉換	計	價			
和漢書	三三、六一	四、九八一	二九二	二	二八、八三五	一六、四九七	三三〇			
洋書	三〇、七	四、五七	二九二	三	三、四九四	一三、〇四三	〇八〇			
計	二六、五九八	五、四三八	二九二	三	三二、三三九	二九、五三九	一〇			
附屬圖書										
第十八門 雑誌										
第十九門 雜誌										
第二十門 雜誌										
第二十一門 雜誌										
第二十二門 雜誌										
第二十三門 雜誌										
第二十四門 雜誌										
第二十五門 雜誌										
第二十六門 雜誌										
第二十七門 雜誌										
第二十八門 雜誌										
第二十九門 雜誌										
第三十門 雜誌										

附屬高等女學校

五、藏書統計表

(大正五年一月一日現在)

計	洋書	和漢書	買入	寄附	保管轉換	生産	産	計	價	格
二六,五九八	三,〇三七	二三,五六二		四,九八一	二九二		二	二八,八三五	一六,四九七	三三〇
五,四三八	四五七							三,四九四	一三〇,四二〇	八〇
二九二								三二,三二九	二九,五三九	四一〇

◎規 則

附屬高等女學校規則

(明治四十四年七月制定)

第一章 目的

第一條 附屬高等女學校ハ女子ニ高等普通教育ヲ施シテ其方法ノ研究ニ資シ且本校生徒ヲシテ之ヲ實習セシムル所トス

第二章 學科及修業年限

第二條 附屬高等女學校ニ本科及補習科ヲ置ク

第三條 本科ノ學科目ハ修身國語英語歷史地理數學理科圖畫家事裁縫園藝音樂體操トス

前項學科目ノ内英語ハ隨意科目トス

第四條 補習科ノ學科目ハ之ヲ別テ第一部及第二部トシ第一部ノ學科目ハ修身國語漢文英語數學圖畫家事教育裁縫園藝音樂體操トシ第二部ノ學科目ハ修身國語數學圖畫家事教育裁縫園藝音樂體操トス

前項學科目ノ内英語圖畫園藝音樂ハ隨意科目トス

第五條 前二條ノ學科目中生徒身體ノ情況ニ由リ學修ニ適セスト認ムル學科目ハ之ヲ其生徒ニ課セサルコトアルヘシ

第三章 學年學期及休業

第七條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第九條 休業日ハ左ノ如シ

祝日 大祭日

皇后陛下御誕辰

學校記念日

日曜日

英語	國語	修身	學年	第一學年
			學科	
三	六	二	數時週每	第一學年
發音、綴字、讀方及譯解、話方及作文、書取、習字	講讀、習作、字	生徒心得、教育勅語、述義、法		
三	六	二	數時週每	第二學年
讀方及譯解、話方及作文、書取、習字	前學年ノ續	戊申詔書、述義、法、訓		
三	五	二	數時週每	第三學年
讀方及譯解、話方及作文、書取	講讀、習作、文、字、法	修養、訓、道徳ノ要、法、領		
三	五	二	數時週每	第四學年
前學年ノ續	前學年ノ續	前學年ノ續		

第十條 本科及補習科ノ程度及毎週教授時數ハ左ノ如シ

本科課程表

春季休業 三月二十五日ヨリ四月七日マテ
夏季休業 七月二十六日ヨリ九月五日マテ
冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ

第四章 學科程度及教授時數

大正二年四月
追加

學科 目年	學 年	地 理	歷 史	數 學	理 科	圖 畫	家 事	裁 縫
第一學年	三	日本歷史、 日本地理、 附關東州、 滿州	三	算 術	植 物 動 物	寫 生 臨 案 畫	掃 除 衣 服 什 器 ノ 取 扱 及 手 入	普 通 ノ 衣 類 ノ 裁 方、 繕 方
第二學年	三	日本歷史 外國歷史 世界地理	三	前 學 年 ノ 續	植 物、 動 物、 生 理 及 衛 生、 鑛 物	前 學 年 ノ 續	前 學 年 ノ 續	前 學 年 ノ 續
第三學年	三	外國歷史 世界地理	三	前 學 年 ノ 續	化 學 物 理	前 學 年 ノ 續	家 內 ノ 整 理 及 衛 生 飲 食 物 ノ 調 理、 實 習	前 學 年 ノ 續
第四學年	二	日本現代史 地理概說	二	前 學 年 ノ 續 幾 何 初 步	前 學 年 ノ 續	前 學 年 ノ 續	育 兒、 養 老、 看 病 家 事 經 濟、 實 習	前 學 年 ノ 續

一七八

部	國 藝	音 樂	體 操	許
第一部	二	二	三	三二
第二部	一	二	三	三二
第三部	一	一	三	三二
第四部	一	一	三	三二

國語及裁縫ノ每週教授時數ハ一學年間各學科目ノ教授總時數ヲ變更セサル範圍
内ニ於テ季節ニ由リ國語ハ每週一時、裁縫ハ每週二時ヲ限リ増減スルコトヲ得
隨意科目ヲ修メサル者ノ爲ニハ其教授時數ヲ他ノ學科目ニ加フルコトヲ得

補習科課程表

附屬高等女學校規則

一七九